

	標本数	学習や活動に関する情報の提供方法											
		①市町村の広報で	②公民館の広報で	③自治会などの回覧板や掲示板で	④チラシ・ポスター・パンフレット	⑤知人や仲間などを通して口コミで	⑥テレビで	⑦ラジオで	⑧新聞で	⑨ミニコミで	⑩インターネットで	無回答	
前回 (平成15年度)	448	161	39	28	95	35	159	26	269	6	51	0	
	100.0%	35.9%	8.7%	6.3%	21.2%	7.8%	35.5%	5.8%	60.0%	1.3%	11.4%	0.0%	
今回(全体)	633	238	52	46	160	51	183	36	294	5	84	25	
	100.0%	37.6%	8.2%	7.3%	25.3%	8.1%	28.9%	5.7%	46.4%	0.8%	13.3%	3.9%	
性別	男性	298	104	21	23	71	22	104	17	138	2	48	6
		100.0%	34.9%	7.0%	7.7%	23.8%	7.4%	34.9%	5.7%	46.3%	0.7%	16.1%	2.0%
	女性	333	132	31	23	89	29	79	19	155	3	36	19
	100.0%	39.6%	9.3%	6.9%	26.7%	8.7%	23.7%	5.7%	46.5%	0.9%	10.8%	5.7%	
無回答	2	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
年齢	20歳～29歳	66	19	2	1	24	10	26	5	21	1	16	0
		100.0%	28.8%	3.0%	1.5%	36.4%	15.2%	39.4%	7.6%	31.8%	1.5%	24.2%	0.0%
	30歳～39歳	103	38	5	3	33	4	33	9	43	1	27	1
		100.0%	36.9%	4.9%	2.9%	32.0%	3.9%	32.0%	8.7%	41.7%	1.0%	26.2%	1.0%
	40歳～49歳	127	56	3	5	34	10	34	6	71	1	20	2
		100.0%	44.1%	2.4%	3.9%	26.8%	7.9%	26.8%	4.7%	55.9%	0.8%	15.7%	1.6%
	50歳～59歳	133	53	15	14	32	7	34	4	67	0	14	5
	100.0%	39.8%	11.3%	10.5%	24.1%	5.3%	25.6%	3.0%	50.4%	0.0%	10.5%	3.8%	
60歳～69歳	104	40	15	10	23	9	23	5	55	2	6	4	
	100.0%	38.5%	14.4%	9.6%	22.1%	8.7%	22.1%	4.8%	52.9%	1.9%	5.8%	3.8%	
70歳以上	100	32	12	13	14	11	33	7	37	0	1	13	
	100.0%	32.0%	12.0%	13.0%	14.0%	11.0%	33.0%	7.0%	37.0%	0.0%	1.0%	13.0%	
居住地	中都市 (那覇市)	332	105	19	21	96	18	100	17	163	5	53	15
		100.0%	31.6%	5.7%	6.3%	28.9%	5.4%	30.1%	5.1%	49.1%	1.5%	16.0%	4.5%
	小都市(名護市・宮古島市)	191	85	21	12	41	22	60	12	86	0	17	6
	100.0%	44.5%	11.0%	6.3%	21.5%	11.5%	31.4%	6.3%	45.0%	0.0%	8.9%	3.1%	
町村(南風原町・中城村)	110	48	12	13	23	11	23	7	45	0	14	4	
	100.0%	43.6%	10.9%	11.8%	20.9%	10.0%	20.9%	6.4%	40.9%	0.0%	12.7%	3.6%	

2 学習活動を進めていく上での要望

問 13 今後、学習活動を進めていくうえであなたはどのようなことを要望しますか。(3つまで選んで下さい)

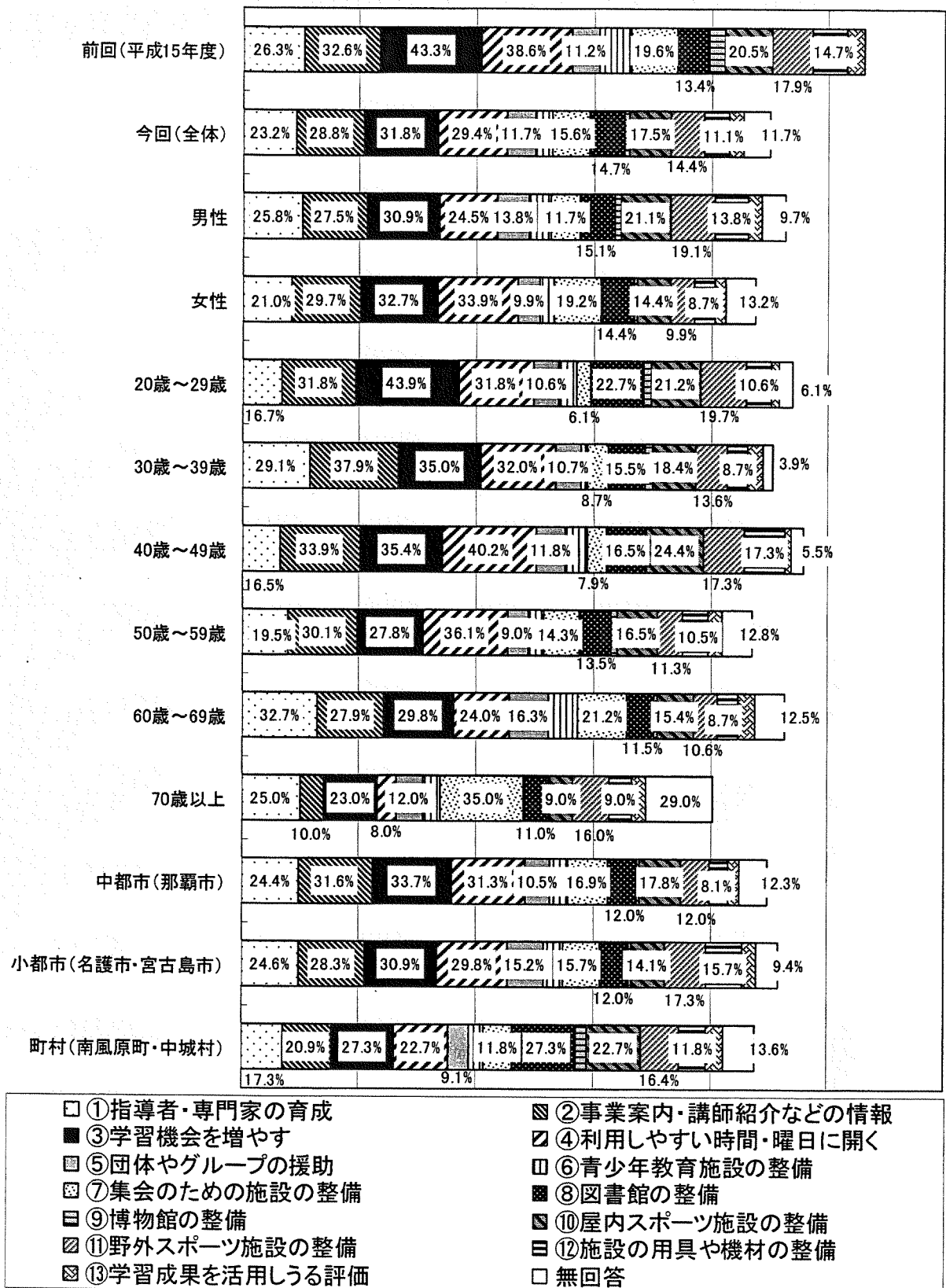
- | |
|--|
| 1. 生涯学習の指導者・専門家の育成・紹介にもっと力を入れてほしい |
| 2. 事業案内・講師紹介など、学習するのに必要な情報をもっと提供してほしい |
| 3. 講座・実習・見学・講演会・研修会など学習機会をもっと増やしてほしい |
| 4. 学級や講座など生涯学習事業を、もっと利用しやすい曜日や時間に開いてほしい |
| 5. 団体やグループの援助にもっと力を入れてほしい |
| 6. 青少年教育施設をもっと設けてほしい |
| 7. 公民館など学習や集会のための施設をもっと整えてほしい |
| 8. 図書館をもっと設けてほしい |
| 9. 博物館をもっと設けてほしい |
| 10. 体育館のような屋内スポーツ施設をもっと設けてほしい |
| 11. グラウンドやプールのような野外スポーツ施設をもっと設けてほしい |
| 12. 学習やスポーツ施設に用具や機材をもっと整えてほしい |
| 13. 社会・個人あるいは集団が学習成果を活用しうるようにするための評価をしてほしい |

生涯学習活動を進める上での要望として、「学習機会を増やす」が 31.8%と最も高く、以下「利用しやすい時間・曜日に開く」(29.4%)、「事業案内・講師紹介などの情報」(28.8%)、「指導者・専門家の育成」(23.2%)、「屋内スポーツ施設の整備」(17.5%)となっている。前回調査と同じ順位となっているが、「学習機会を増やす」、「利用しやすい時間・曜日に開く」では前回より約 10%減少している。

	今回の順位 (%)	H15 年度調査 (%)
学習機会を増やす	1 (31.8%)	1 (43.3%)
利用しやすい時間・曜日に開く	2 (29.4%)	2 (38.6%)
事業案内・講師紹介などの情報	3 (28.8%)	3 (32.6%)
指導者・専門家の育成	4 (23.2%)	4 (26.3%)
屋内スポーツ施設の整備	5 (17.5%)	5 (20.5%)

男女別でみると、きわだった差はみられないが、「屋内スポーツ施設の整備」(男性 21.1%、女性 14.4%)と「野外スポーツ施設の整備」(男性 19.1%、女性 9.9%)については男性が比較的高く、「利用しやすい時間・曜日に開く」(女性 33.9%、男性 24.5%)と「公民館など集会のための施設の整備」(女性 19.2%、11.7%)については女性が比較的高い。

年代別でみると、「学習機会を増やす」と「事業案内・講師紹介などの情報」が若い年代になるにつれて要望する割合が高い傾向にある。「利用しやすい時間・曜日に開く」は 20 歳代から 50 歳代までが 30%以上と割合が高く、特に 40 歳代が 40.2%と高い要望を示している。また、「指導者・専門家の育成」については、30 歳代と 60 歳代が約 30%と他の年代に比べて高い要望となっている。



	標本数	今後の要望														
		①指導者・専門家の育成	②事業案内・講師紹介などの情報	③学習機会を増やす	④利用しやすい時間・曜日に開く	⑤団体やグループの援助	⑥青少年教育施設の整備	⑦公民館など集会のための施設の整備	⑧図書館の整備	⑨博物館の整備	⑩屋内スポーツ施設の整備	⑪野外スポーツ施設の整備	⑫施設の用具や機材の整備	⑬学習成果を活用しうる評価	無回答	
前回 (平成15年度)	448	118	146	194	173	50	61	88	60	29	92	80	66	33	0	
	100.0%	26.3%	32.6%	43.3%	38.6%	11.2%	13.6%	19.6%	13.4%	6.5%	20.5%	17.9%	14.7%	7.4%	0.0%	
今回(全体)	633	147	182	201	186	74	49	99	93	12	111	91	70	35	74	
	100	23.2%	28.8%	31.8%	29.4%	11.7%	7.7%	15.6%	14.7%	1.9%	17.5%	14.4%	11.1%	5.5%	11.7%	
性別	男性	298	77	82	92	73	41	28	35	45	8	63	57	41	19	29
		100.0%	25.8%	27.5%	30.9%	24.5%	13.8%	9.4%	11.7%	15.1%	2.7%	21.1%	19.1%	13.8%	6.4%	9.7%
	女性	333	70	99	109	113	33	20	64	48	4	48	33	29	16	44
		100.0%	21.0%	29.7%	32.7%	33.9%	9.9%	6.0%	19.2%	14.4%	1.2%	14.4%	9.9%	8.7%	4.8%	13.2%
無回答	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	
	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	
年齢	20歳～29歳	66	11	21	29	21	7	5	4	15	2	14	13	7	2	4
		100.0%	16.7%	31.8%	43.9%	31.8%	10.6%	7.6%	6.1%	22.7%	3.0%	21.2%	19.7%	10.6%	3.0%	6.1%
	30歳～39歳	103	30	39	36	33	11	3	9	16	3	19	14	9	7	4
		100.0%	29.1%	37.9%	35.0%	32.0%	10.7%	2.9%	8.7%	15.5%	2.9%	18.4%	13.6%	8.7%	6.8%	3.9%
	40歳～49歳	127	21	43	45	51	15	12	10	21	1	31	22	22	4	7
		100.0%	16.5%	33.9%	35.4%	40.2%	11.8%	9.4%	7.9%	16.5%	0.8%	24.4%	17.3%	17.3%	3.1%	5.5%
	50歳～59歳	133	26	40	37	48	12	9	19	18	4	22	15	14	8	17
		100.0%	19.5%	30.1%	27.8%	36.1%	9.0%	6.8%	14.3%	13.5%	3.0%	16.5%	11.3%	10.5%	6.0%	12.8%
	60歳～69歳	104	34	29	31	25	17	13	22	12	1	16	11	9	8	13
		100.0%	32.7%	27.9%	29.8%	24.0%	16.3%	12.5%	21.2%	11.5%	1.0%	15.4%	10.6%	8.7%	7.7%	12.5%
	70歳以上	100	25	10	23	8	12	7	35	11	1	9	16	9	6	29
		100.0%	25.0%	10.0%	23.0%	8.0%	12.0%	7.0%	35.0%	11.0%	1.0%	9.0%	16.0%	9.0%	6.0%	29.0%
居住地	中都市 (那覇市)	332	81	105	112	104	35	26	56	40	4	59	40	27	15	41
		100.0%	24.4%	31.6%	33.7%	31.3%	10.5%	7.8%	16.9%	12.0%	1.2%	17.8%	12.0%	8.1%	4.5%	12.3%
	小都市(名護市・宮古島市)	191	47	54	59	57	29	16	30	23	3	27	33	30	12	18
		100.0%	24.6%	28.3%	30.9%	29.8%	15.2%	8.4%	15.7%	12.0%	1.6%	14.1%	17.3%	15.7%	6.3%	9.4%
町村(南風原町・中城村)	110	19	23	30	25	10	7	13	30	5	25	18	13	8	15	
	100.0%	17.3%	20.9%	27.3%	22.7%	9.1%	6.4%	11.8%	27.3%	4.5%	22.7%	16.4%	11.8%	7.3%	13.6%	

3 学習活動に対する負担額

問14 あなたは、学習・文化・スポーツ・レクリエーションなどの活動に、どのくらいまで自己負担してもよいと思いますか。

1ヶ月平均・・・約	円
-----------	---

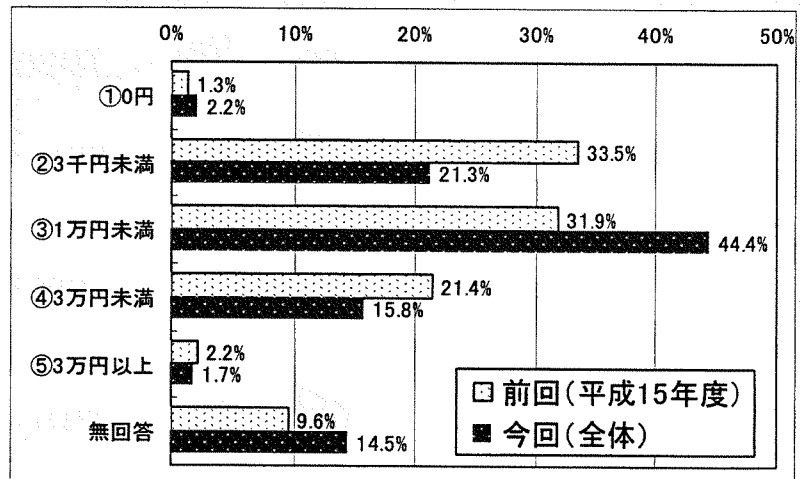
生涯学習活動の自己負担限度額をみると、一人当たりの月平均限度額は 5,579 円となっている。これを年間で算出すると、一人当たりの年間平均限度額は 66,948 円となる。

前回調査によると、生涯学習活動の自己負担限度額は一人当たり月平均 6,475 円となっており、今回は 896 円減少したことになる。

自己負担額	今回の調査(平均)	H15 年度調査(平均)	前回との差
月平均	5,579 円	6,475 円	▲ 896 円
年平均	66,948 円	77,700 円	▲10,752 円

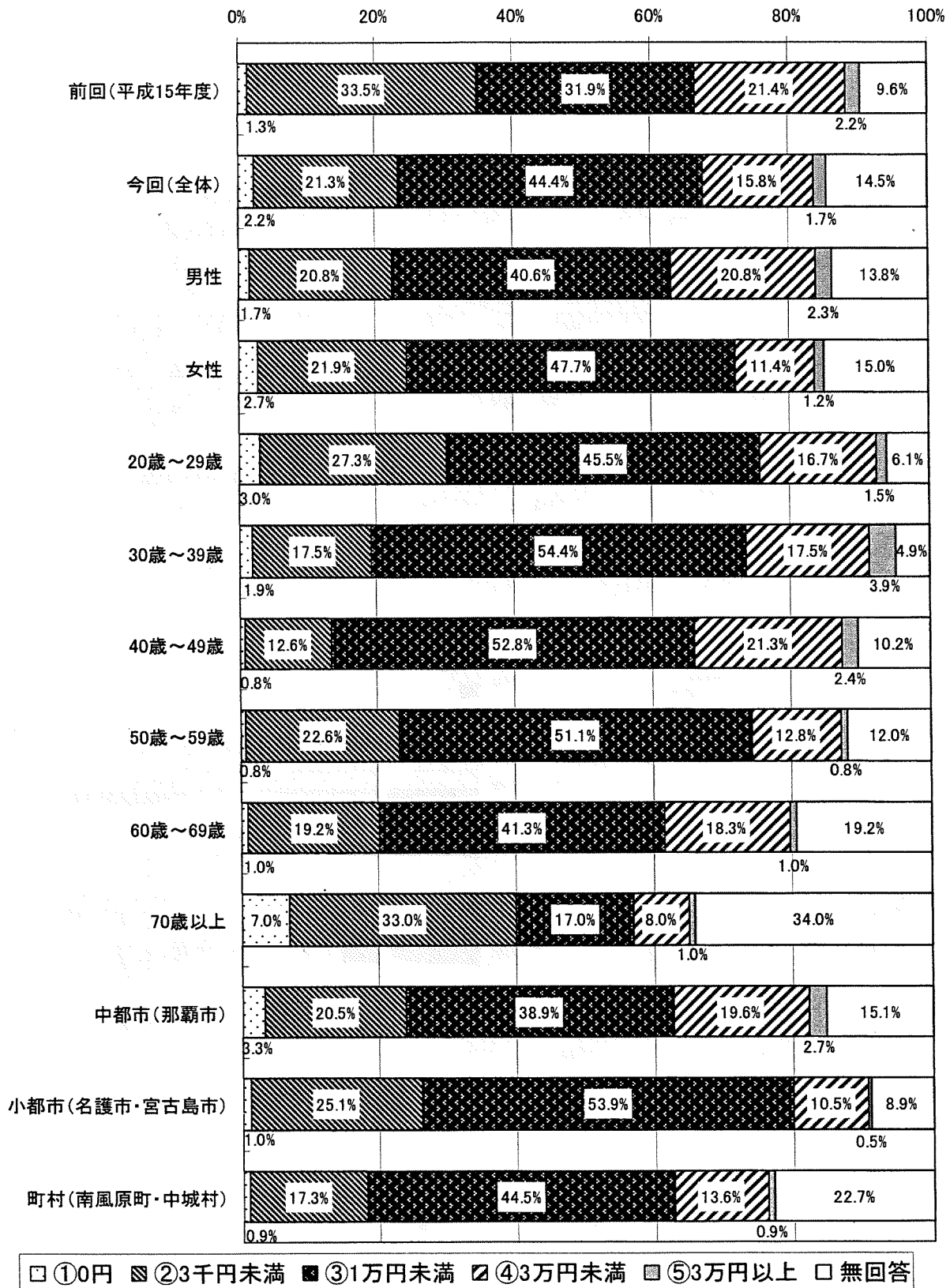
1ヶ月当たりの自己負担限度額を段階別にみると、「3千円以上1万円未満」が 44.4%で最も高く、次いで「1円以上3千円未満」(21.3%)、「1万以上3万円未満」(15.8%)、「0円」(2.2%)、「3万円以上」(1.7%)となっている。

負担額(円)	
全体	5,579
男性	6,389
女性	4,852
20歳～29歳	5,323
30歳～39歳	6,794
40歳～49歳	6,437
50歳～59歳	4,889
60歳～69歳	5,613
70歳以上	3,712



1ヶ月の自己負担限度額を男女別でみると、男女とも「3千円以上1万円未満」が4割以上を占め最も多くなっている。女性は「3千円以上1万円未満」で男性と比べて若干多く(女性 47.7%、男性 40.6%)、男性は「1万円以上3万円未満」で女性と比べて若干多い(男性 20.8%、女性 11.4%)。

年代別でみると、「3千円以上1万円未満」は20歳代から60歳代までで4割以上を占め、特に30歳代から50歳代までは5割を超え高い割合となっている。逆に、「0円から3千円未満」では70歳以上で4割を占めている。



4 学習活動に要する自由時間

問 15 自分が自由に使える時間（通勤・通学・家事・食事・睡眠などを除いた、自分が好きに使える時間）はどれくらいありますか。

a. 平日の場合	約	時間
b. 休日の場合	約	時間

県民が自由に使える時間の平均は、平日で2時間52分、休日で4時間49分となっている。前回調査と比較すると、前回調査では平日で3時間06分、休日で5時間24分となっており、平日で14分の減少、休日で35分の減少となっている。

	今回の調査（平均）	H15年度調査（平均）	前回との差
平日の自由時間	2時間52分	3時間06分	▲14分
休日の自由時間	4時間49分	5時間24分	▲35分

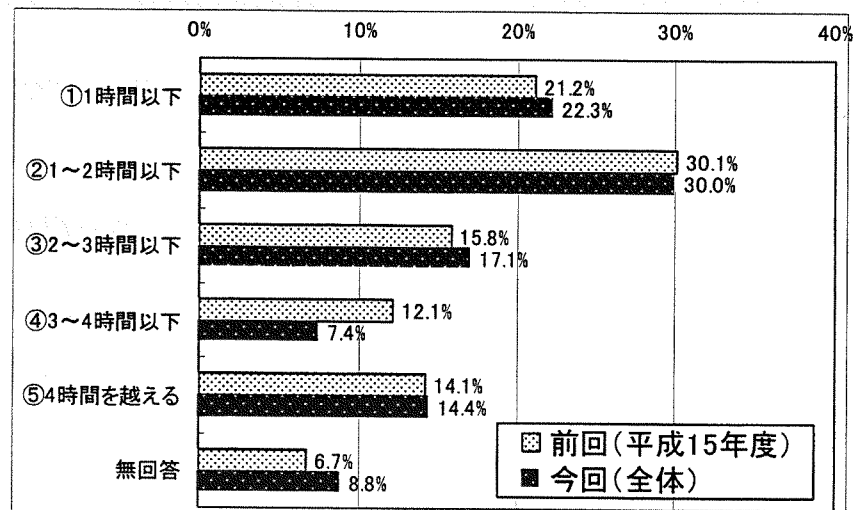
(1) 平日の自由時間

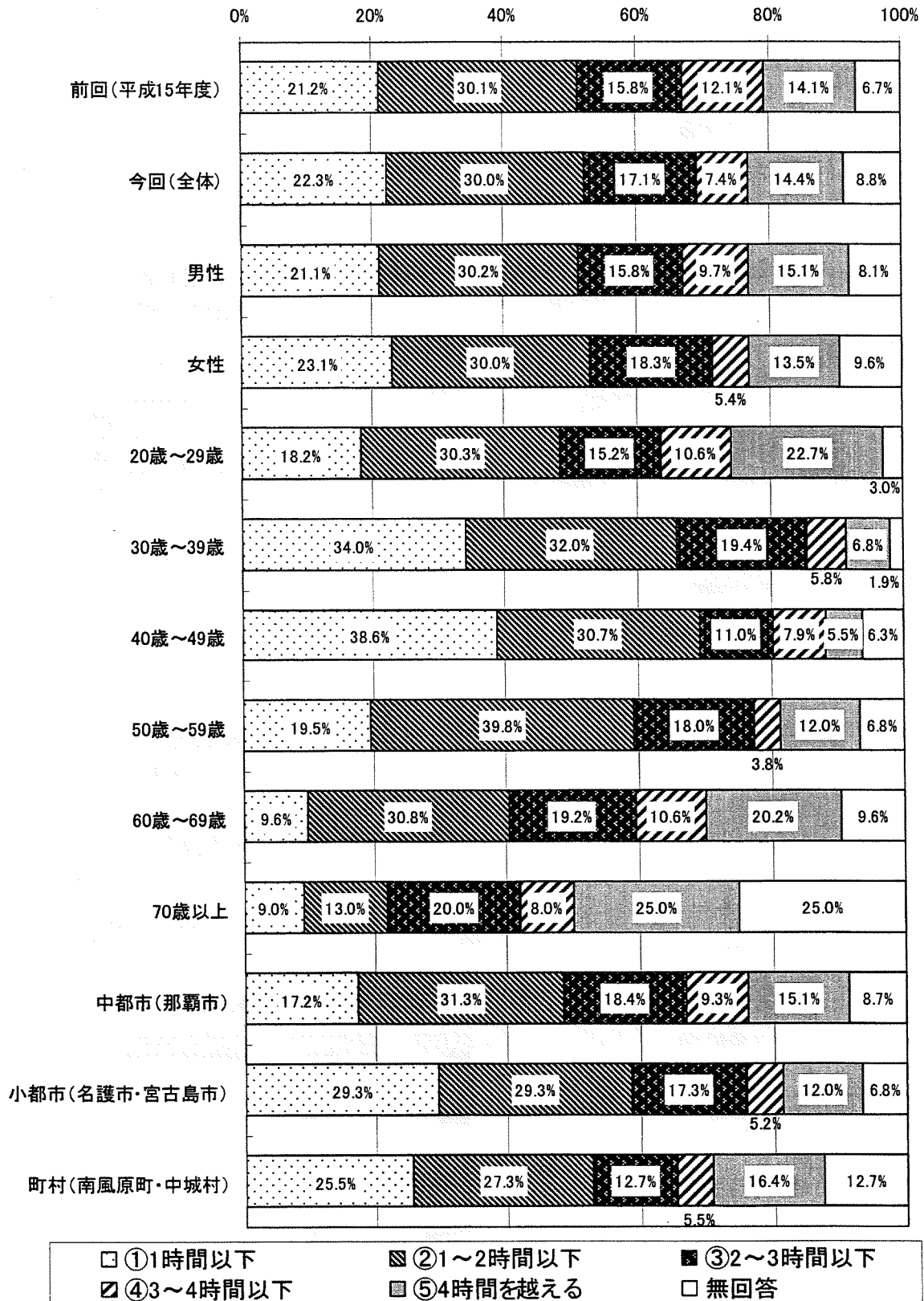
男女別でみると、男性3時間04分、女性2時間40分と、女性は男性より平日の自由時間が24分少ない。

年代別でみると、70歳以上で4時間19分と平日の自由時間が最も長くなっており、60歳代が3時間26分、20歳代が3時間11分と続いている。（全体平均2時間52分）

逆に、自由時間が短い30歳代と40歳代では、「1時間以下」の割合が他の年代に比べて高くなっており、30歳代34.0%、40歳代38.6%（全体22.3%）となっている。

全体	2時間52分
男性	3時間04分
女性	2時間40分
20歳～29歳	3時間11分
30歳～39歳	2時間10分
40歳～49歳	2時間04分
50歳～59歳	2時間46分
60歳～69歳	3時間26分
70歳以上	4時間19分





(2) 休日の自由時間

休日の自由時間の平均を男女別でみると、男性 5 時間 24 分、女性 4 時間 14 分と女性が男性より 70 分少ない。内訳をみると、「1 時間以下」が女性 12.9%、男性 5.0%と女性の割合が男性の倍以上あり、「1～2 時間以下」(女性 16.8%、男性 10.7%)、「2～3 時間以下」(女性 14.4%、男性 12.1%) で、いずれも女性の割合が高い。

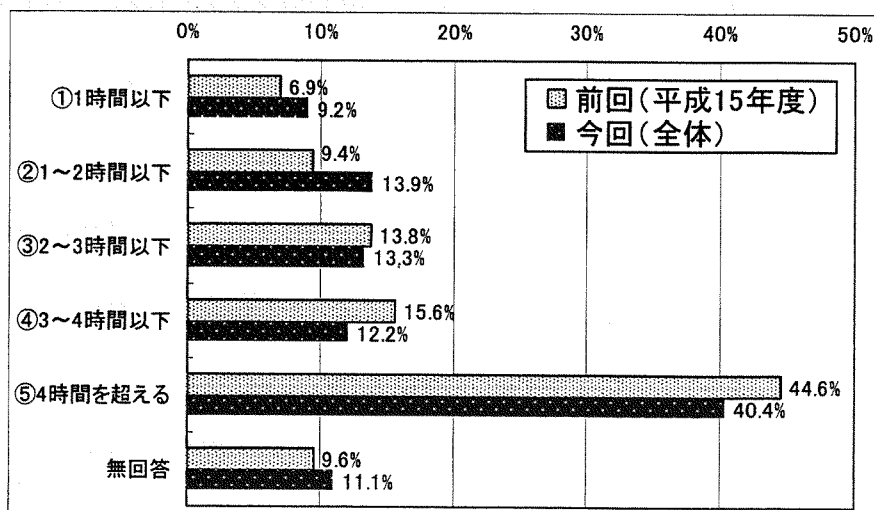
それとは逆に、「3～4 時間以下」(男性 14.4%、女性 9.6%)、「4 時間を超える」(男性 48.0%、女性 33.6%) ではいずれも男性の割合が高い。また、男女の自由時間の差は、平日よりも休日のほうが大きくなっている。

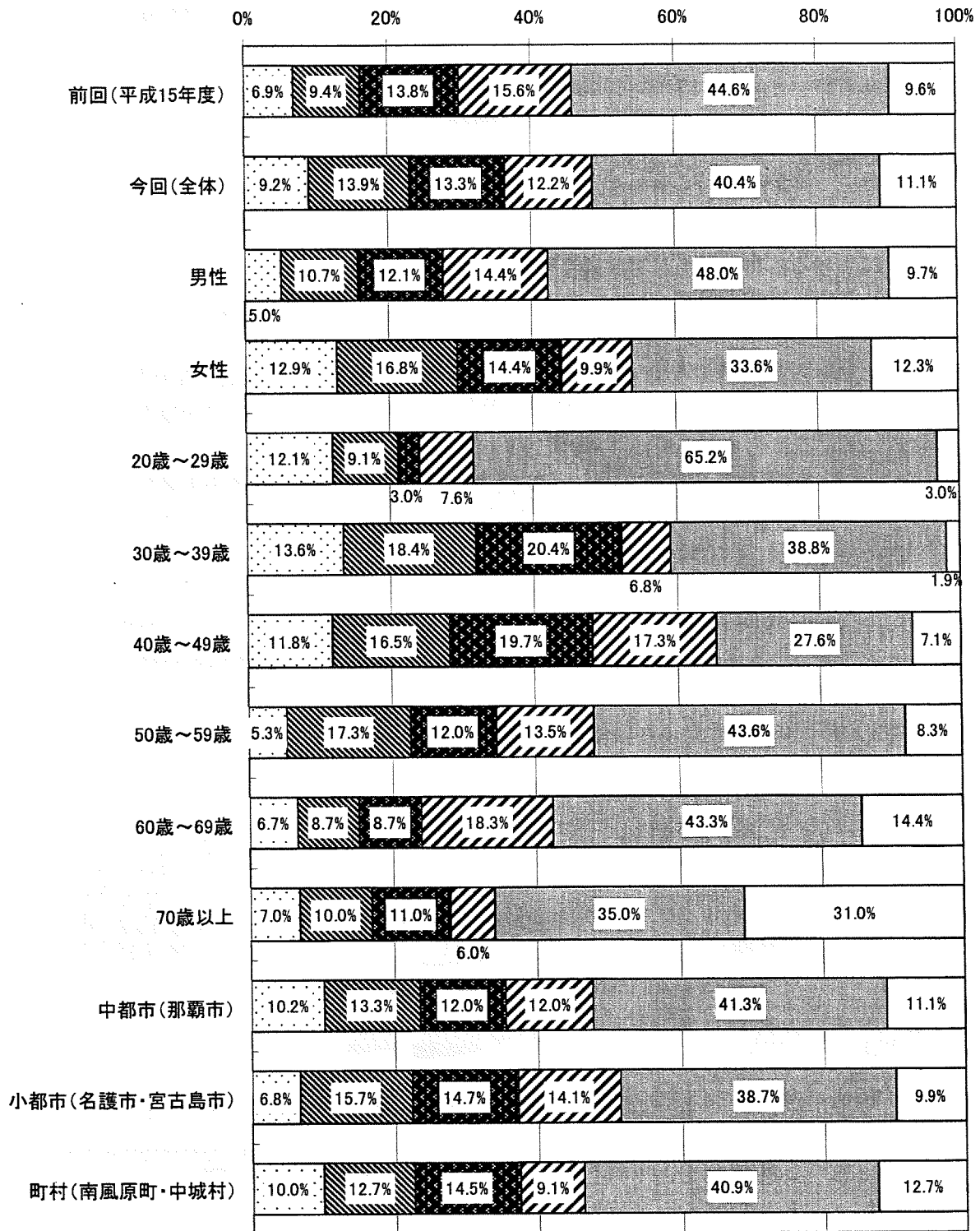
休日における自由時間も、平日の自由時間と同様に女性の自由時間が短い状況にあり、女性は家事や育児等の時間のため、自由時間が少ないことがうかがえる。

年代別でみると、20 歳代の 6 時間 39 分が最も長く、次に 70 歳以上の 5 時間 25 分となっている。30 歳代 4 時間 05 分、40 歳代 4 時間 04 分については、比較的他の年代と比べて休日における自由時間が短い。「1 時間以下」の割合は、30 歳代の 13.6%、20 歳代の 12.1%、40 歳代の 11.8%が他の年齢層に比べて高く、働き盛りの年代が、就業や子育てなど、日常生活の忙しさがうかがえる。また、「4 時間を超える」の割合は、20 歳代の 65.2%が最も高く、次いで 50 歳代 43.6%、60 歳代 43.3%となっている。

前回の調査と同様、休日の自由時間は平日よりも大幅に増えており、十分な活動時間を確保することができる状況となっている。一方では、依然として女性の自由時間が男性より短いことから、家庭内における家事の役割分担などの普及が求められる。また、平日と休日の自由時間の長さに応じて講座等を実施するなど、柔軟なプログラムが望まれる。

全体	4 時間 49 分
男性	5 時間 24 分
女性	4 時間 14 分
20 歳～29 歳	6 時間 39 分
30 歳～39 歳	4 時間 05 分
40 歳～49 歳	4 時間 04 分
50 歳～59 歳	4 時間 45 分
60 歳～69 歳	4 時間 54 分
70 歳以上	5 時間 25 分





①1時間以下 ②1~2時間以下 ③2~3時間以下
 ④3~4時間以下 ⑤4時間を超える 無回答

2-3 生涯学習の今後の方向

(問 16、問 17、問 18、問 19)

1 今後重要となる生涯学習

問 16 あなたは、今後のライフステージ（生活設計）の中で次のどの項目が一層重要になるとお考えですか。（1つ選んで下さい）

1. 家庭教育	3. 青年教育	5. 高齢者教育
2. 少年教育	4. 成人教育	

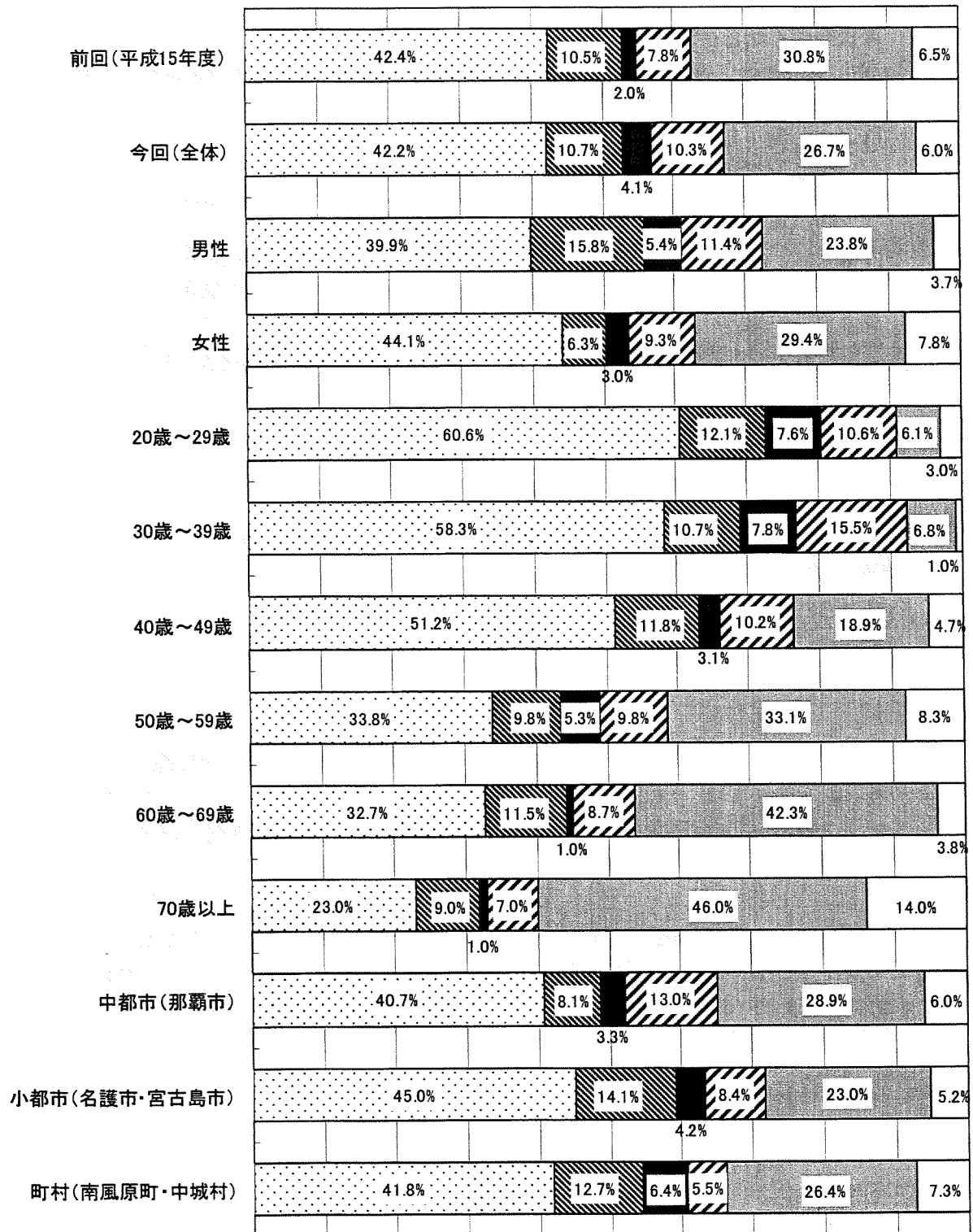
将来における生涯学習の重点について、「家庭教育」が 42.2%と最も高く、以下「高齢者教育」(26.7%)、「少年教育」(10.7%)、「成人教育」(10.3%)、「青年教育」(4.1%)と続いている。

前回調査も同様の順位となっているが、4位の「成人教育」が前回よりも2.5%上回って10.3%となっており、子供だけの教育だけでなく大人の教育についての関心も高くなっている。

	今回の順位 (%)	H15 年度調査 (%)
家庭教育	1 (42.2%)	1 (42.4%)
高齢者教育	2 (26.7%)	2 (30.8%)
少年教育	3 (10.7%)	3 (10.5%)
成人教育	4 (10.3%)	4 (7.8%)
青年教育	5 (4.1%)	5 (2.0%)

男女別でみると、「家庭教育」については男女とも約4割が重要だと認識している。「高齢者教育」については、男性(23.8%)に比べ、女性(29.4%)が高く、女性の方が重要視している。逆に、「少年教育」については、女性(6.3%)に比べ、男性(15.8%)が2倍以上高く、男性の方が重要視している。

年代別でみると、「家庭教育」は、小さい子どもを有する若年層になるにつれて必要性を感じていることがわかる。「高齢者教育」は、高年層になるにつれて重要性を認識しているが、特に20歳代(6.1%)、30歳代(6.8%)の若年層での重要性の認識が低くなっている。「少年教育」及び「成人教育」については、どの世代も約1割が重用だと認識している。



□ ①家庭教育 ▨ ②少年教育 ■ ③青年教育 ▩ ④成人教育 ▪ ⑤高齢者教育 □ 無回答

	標本数	今後重要と思われる項目							
		① 家庭 教育	② 少年 教育	③ 青年 教育	④ 成人 教育	⑤ 高齢者 教育	無 回 答		
前 回 (平成15年度)	448	190	47	9	35	138	29		
	100.0%	42.4%	10.5%	2.0%	7.8%	30.8%	6.5%		
今 回(全体)	633	267	68	26	65	169	38		
	100.0%	42.2%	10.7%	4.1%	10.3%	26.7%	6.0%		
性 別	男性	298	119	47	16	34	71	11	
		100.0%	39.9%	15.8%	5.4%	11.4%	23.8%	3.7%	
	女性	333	147	21	10	31	98	26	
		100.0%	44.1%	6.3%	3.0%	9.3%	29.4%	7.8%	
	無回答	2	1	0	0	0	0	1	
		100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	
年 齢	20歳～29歳	66	40	8	5	7	4	2	
		100.0%	60.6%	12.1%	7.6%	10.6%	6.1%	3.0%	
	30歳～39歳	103	60	11	8	16	7	1	
		100.0%	58.3%	10.7%	7.8%	15.5%	6.8%	1.0%	
	40歳～49歳	127	65	15	4	13	24	6	
		100.0%	51.2%	11.8%	3.1%	10.2%	18.9%	4.7%	
	50歳～59歳	133	45	13	7	13	44	11	
		100.0%	33.8%	9.8%	5.3%	9.8%	33.1%	8.3%	
	60歳～69歳	104	34	12	1	9	44	4	
		100.0%	32.7%	11.5%	1.0%	8.7%	42.3%	3.8%	
	70歳以上	100	23	9	1	7	46	14	
		100.0%	23.0%	9.0%	1.0%	7.0%	46.0%	14.0%	
	居 住 地	中都市 (那覇市)	332	135	27	11	43	96	20
			100.0%	40.7%	8.1%	3.3%	13.0%	28.9%	6.0%
小都市(名護市・ 宮古島市)		191	86	27	8	16	44	10	
		100.0%	45.0%	14.1%	4.2%	8.4%	23.0%	5.2%	
町村(南風原町・ 中城村)	110	46	14	7	6	29	8		
	100.0%	41.8%	12.7%	6.4%	5.5%	26.4%	7.3%		

2 今後の学習方法

問 17 あなたは、今後学習するとすれば、どのような方法で学習したいとお考えですか。

(3つまで選んで下さい)

1. 公民館を利用して
2. 図書館を利用して
3. 博物館を利用して
4. P T A・婦人会・老人クラブなどの事業に参加して
5. 民間のカルチャーセンターの事業に参加して
6. 農協・商工会・労働団体などの事業に参加して
7. 職業訓練所・研究機関・大学などの事業に参加して
8. 通信教育で
9. テレビ・ラジオを利用して
10. 雑誌・新聞などの出版物を利用して
11. 私立学校(専修学校・各種学校を含む)の事業に参加して
12. 企業内の事業に参加して
13. 仲間・サークルで
14. 地域組織による講座で
15. 地域の学校の公開事業に参加して
16. 放送大学で
17. その他

今後の学習方法として、「仲間・サークルで」が 30.8%と最も高く、次いで「公民館を利用して」(27.3%)、「図書館を利用して」(26.1%)、「雑誌・新聞などの出版物を利用して」(25.1%)、「テレビ・ラジオを利用して」(21.5%)と続いている。

前回調査と比較すると、2位の「公民館を利用して」と3位の「図書館を利用して」の順位が入れ替わった形となっている。また、「民間のカルチャーセンター事業に参加して」、「私立学校(専修学校・各種学校を含む)に参加して」、「企業内の事業に参加して」以外の全ての項目において、前回調査より割合が減少している。

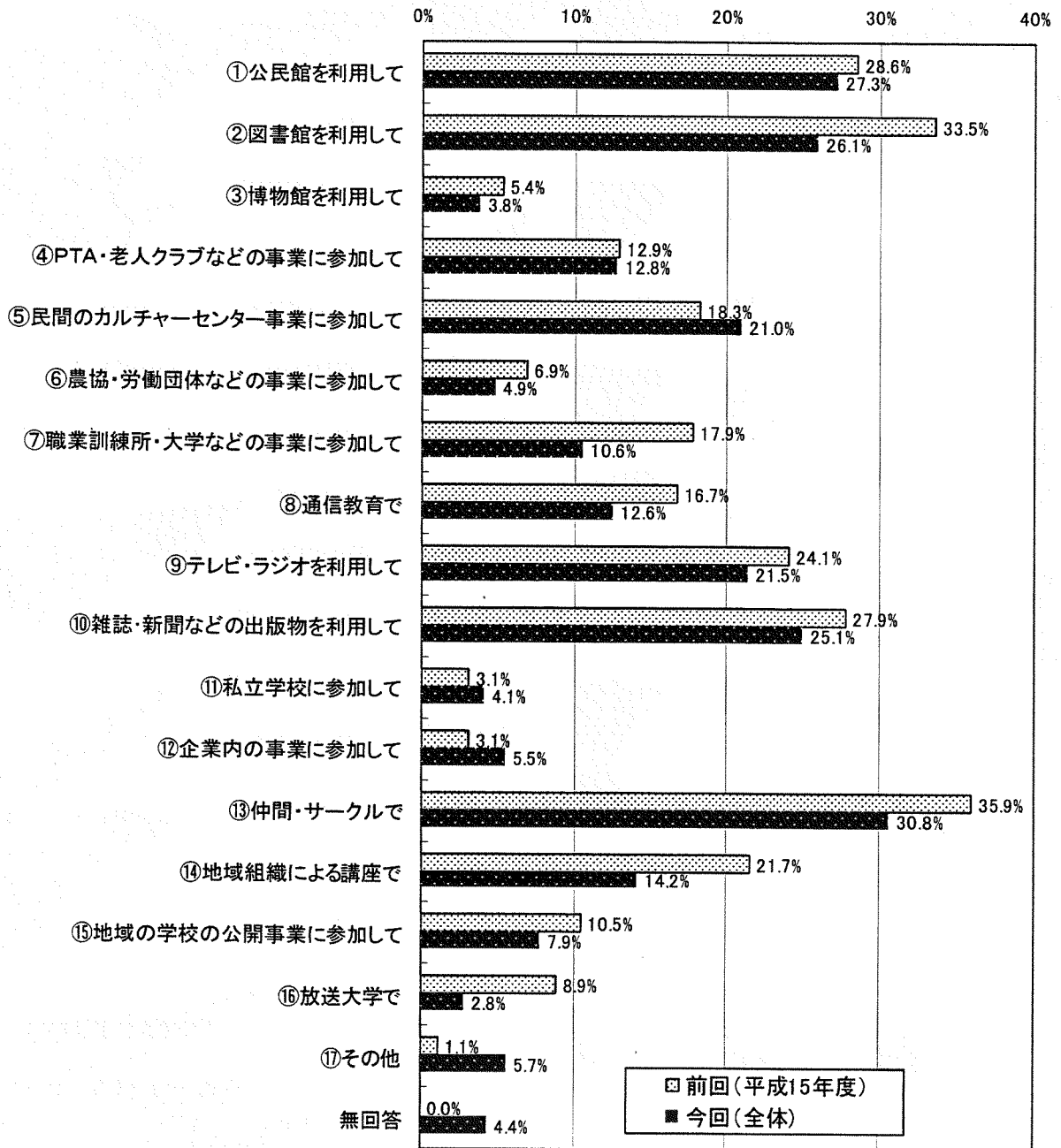
	今回の順位 (%)	H15 年度調査 (%)
仲間・サークルで	1 (30.8%)	1 (35.9%)
公民館を利用して	2 (27.3%)	3 (28.6%)
図書館を利用して	3 (26.1%)	2 (33.5%)
雑誌・新聞などの出版物を利用して	4 (25.1%)	4 (27.9%)
テレビ・ラジオを利用して	5 (21.5%)	5 (24.1%)

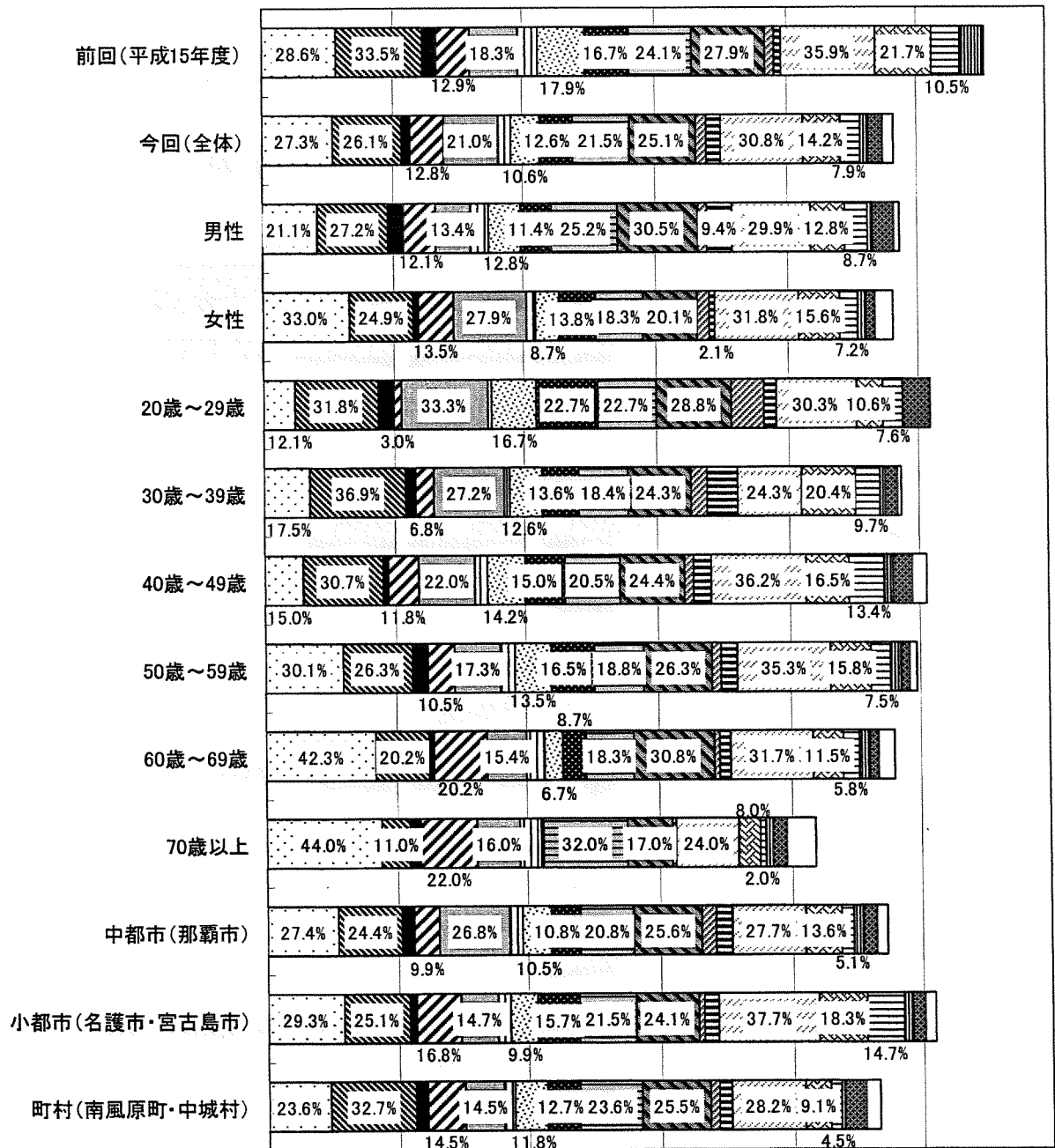
男女別でみると、男性が女性を上回っている項目は、「雑誌・新聞などの出版物を利用して」(男性 30.5%、女性 20.1%)、「テレビ・ラジオを利用して」(男性 25.2%、女性 18.3%)、「企業内の事業に参加して」(男性 9.4%、女性 2.1%)の3項目があげられる。一方、女性が男性を上回っている項目は、「公民館を利用して」(女性 33.0%、男性 21.1%)、「民間のカルチャーセンター事業に参加して」(女性 27.9%、男性 13.4%)などである。

今後の学習方法を年代別で見ると、「仲間・サークルで」や「雑誌・新聞などの出版物を利用して」でどの年齢層においても、おおよそ25～35%の一定割合を占めている。

「公民館を利用して」については、年齢層が高くなるにつれて、割合が高くなる傾向にあり、「図書館を利用して」については、若い年代ほど希望する傾向にある。

また、「テレビ・ラジオを利用して」で、70歳以上が32.0%と高い割合となっている。





- ① 公民館を利用して
- ② 図書館を利用して
- ③ 博物館を利用して
- ▨ ④ PTA・老人クラブなどの事業に参加して
- ▨ ⑤ 民間のカルチャーセンター事業に参加して
- ▨ ⑥ 農協・労働団体などの事業に参加して
- ▨ ⑦ 職業訓練所・大学などの事業に参加して
- ⑧ 通信教育で
- ▨ ⑨ テレビ・ラジオを利用して
- ⑩ 雑誌・新聞などの出版物を利用して
- ▨ ⑪ 私立学校に参加して
- ▨ ⑫ 企業内の事業に参加して
- ▨ ⑬ 仲間・サークルで
- ▨ ⑭ 地域組織による講座で
- ▨ ⑮ 地域の学校の公開事業に参加して
- ▨ ⑯ 放送大学で
- ⑰ その他
- 無回答

標本数	今後の学習活動の方法																					
	① 公民館を利用して	② 図書館を利用して	③ 博物館を利用して	④ クラブなどの事業に参加して	⑤ 民間の事業に参加して	⑥ 農協・商工会・労働団体などの事業に参加して	⑦ 職業訓練所・研究機関・大学などの事業に参加して	⑧ 通信教育で	⑨ テレビ・ラジオを利用して	⑩ 雑誌・新聞などの出版物を利用して	⑪ 各種私立学校(専修学校・学校を含む)に参加して	⑫ 企業内の事業に参加して	⑬ 仲間・サークルで	⑭ 地域組織による講座で	⑮ 地域の学校の公開事業に参加して	⑯ 放送大学で	⑰ その他	無回答				
前回 (平成15年度)	448 100.0%	128 28.6%	150 33.5%	24 5.4%	58 12.9%	82 18.3%	31 6.9%	80 17.9%	75 16.7%	108 24.1%	125 27.9%	14 3.1%	14 3.1%	14 3.1%	14 3.1%	161 35.9%	97 21.7%	47 10.5%	40 8.9%	5 1.1%	0 0.0%	
今回(全体)	633 100.0%	173 27.3%	165 26.1%	24 3.8%	81 12.8%	133 21.0%	31 4.9%	67 10.6%	80 12.6%	136 21.5%	159 25.1%	26 4.1%	35 5.5%	90 14.2%	50 7.9%	18 2.8%	36 5.7%	28 4.4%	36 5.7%	18 2.8%	28 4.4%	6 0.9%
男性	298 100.0%	63 21.1%	81 27.2%	18 6.0%	36 12.1%	40 13.4%	20 6.7%	38 12.8%	34 11.4%	75 25.2%	91 30.5%	10 3.4%	28 9.4%	38 12.8%	26 8.7%	7 2.3%	25 8.4%	26 8.7%	7 2.3%	25 8.4%	6 2.0%	6 2.0%
女性	333 100.0%	110 33.0%	83 24.9%	6 1.8%	45 13.5%	93 27.9%	11 3.3%	29 8.7%	46 13.8%	61 18.3%	67 20.1%	16 4.8%	7 2.1%	52 15.6%	24 7.2%	11 3.3%	11 3.3%	24 7.2%	11 3.3%	11 3.3%	21 6.3%	21 6.3%
無回答	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%
20歳~29歳	66 100.0%	8 12.1%	21 31.8%	4 6.1%	2 3.0%	22 33.3%	1 1.5%	11 16.7%	15 22.7%	15 22.7%	19 28.8%	8 12.1%	3 4.5%	7 10.6%	5 7.6%	0 0.0%	7 10.6%	5 7.6%	0 0.0%	7 10.6%	0 0.0%	0 0.0%
30歳~39歳	103 100.0%	18 17.5%	38 36.9%	4 3.9%	7 6.8%	28 27.2%	2 1.9%	13 12.6%	14 13.6%	19 18.4%	25 24.3%	6 5.8%	12 11.7%	21 20.4%	10 9.7%	2 1.9%	5 4.9%	10 9.7%	2 1.9%	5 4.9%	1 1.0%	1 1.0%
40歳~49歳	127 100.0%	19 15.0%	39 30.7%	2 1.6%	15 11.8%	28 22.0%	6 4.7%	18 14.2%	19 15.0%	26 20.5%	31 24.4%	5 3.9%	8 6.3%	21 16.5%	17 13.4%	4 3.1%	10 7.9%	17 13.4%	4 3.1%	10 7.9%	7 5.5%	7 5.5%
50歳~59歳	133 100.0%	40 30.1%	35 26.3%	8 6.0%	14 10.5%	23 17.3%	7 5.3%	18 13.5%	22 16.5%	25 18.8%	35 26.3%	4 3.0%	8 6.0%	21 15.8%	10 7.5%	5 3.8%	5 3.8%	10 7.5%	5 3.8%	5 3.8%	3 2.3%	3 2.3%
60歳~69歳	104 100.0%	44 42.3%	21 20.2%	2 1.9%	21 20.2%	16 15.4%	7 6.7%	7 6.7%	9 8.7%	19 18.3%	32 30.8%	2 1.9%	4 3.8%	12 11.5%	6 5.8%	4 3.8%	4 3.8%	6 5.8%	4 3.8%	4 3.8%	6 5.8%	6 5.8%
70歳以上	100 100.0%	44 44.0%	11 11.0%	4 4.0%	22 22.0%	16 16.0%	8 8.0%	0 0.0%	1 1.0%	32 32.0%	17 17.0%	1 1.0%	0 0.0%	8 8.0%	2 2.0%	3 3.0%	5 5.0%	8 8.0%	2 2.0%	3 3.0%	5 5.0%	11 11.0%
中都市(那覇市)	332 100.0%	91 27.4%	81 24.4%	14 4.2%	33 9.9%	89 26.8%	17 5.1%	35 10.5%	36 10.8%	69 20.8%	85 25.6%	18 5.4%	20 6.0%	45 13.6%	17 5.1%	11 3.3%	18 5.4%	45 13.6%	11 3.3%	18 5.4%	14 4.2%	14 4.2%
小都市(名護市・宮古島市)	191 100.0%	56 29.3%	48 25.1%	5 2.6%	32 16.8%	28 14.7%	9 4.7%	19 9.9%	30 15.7%	41 21.5%	46 24.1%	4 2.1%	10 5.2%	35 18.3%	28 14.7%	6 3.1%	9 4.7%	35 18.3%	6 3.1%	9 4.7%	8 4.2%	8 4.2%
町村(南風原町・中城村)	110 100.0%	26 23.6%	36 32.7%	5 4.5%	16 14.5%	16 14.5%	5 4.5%	13 11.8%	14 12.7%	26 23.6%	28 25.5%	4 3.6%	5 4.5%	10 9.1%	5 4.5%	1 0.9%	9 8.2%	10 9.1%	1 0.9%	9 8.2%	6 5.5%	6 5.5%

3 学習や活動が出来ない理由

問 18 あなたが学習や活動ができない理由は何ですか。(3つまで選んで下さい)

- | |
|---------------------------|
| 1. 仕事・家事・育児などのため、時間がとれない |
| 2. 身近に仲間がいない |
| 3. 経費が多くかかる |
| 4. 家庭や職場の人の理解や協力が得られない |
| 5. どんな学習や活動があるかわからない |
| 6. 適切な講師や指導者がいない |
| 7. 身近に利用できる施設が少ない |
| 8. 希望する内容にあった学習や活動の機会が少ない |
| 9. 学習や活動をする必要を感じない |
| 10. 体の具合が悪い |
| 11. その他 |

学習や活動に参加できない理由として、「仕事・家事などのため、時間がとれない」が40.4%で最も多く、以下「経費が多くかかる」(33.6%)、「希望する内容に合った学習の機会が少ない」(30.0%)、「どんな学習や活動があるかわからない」(27.6%)、「身近に利用できる施設が少ない」(24.6%)となっている。

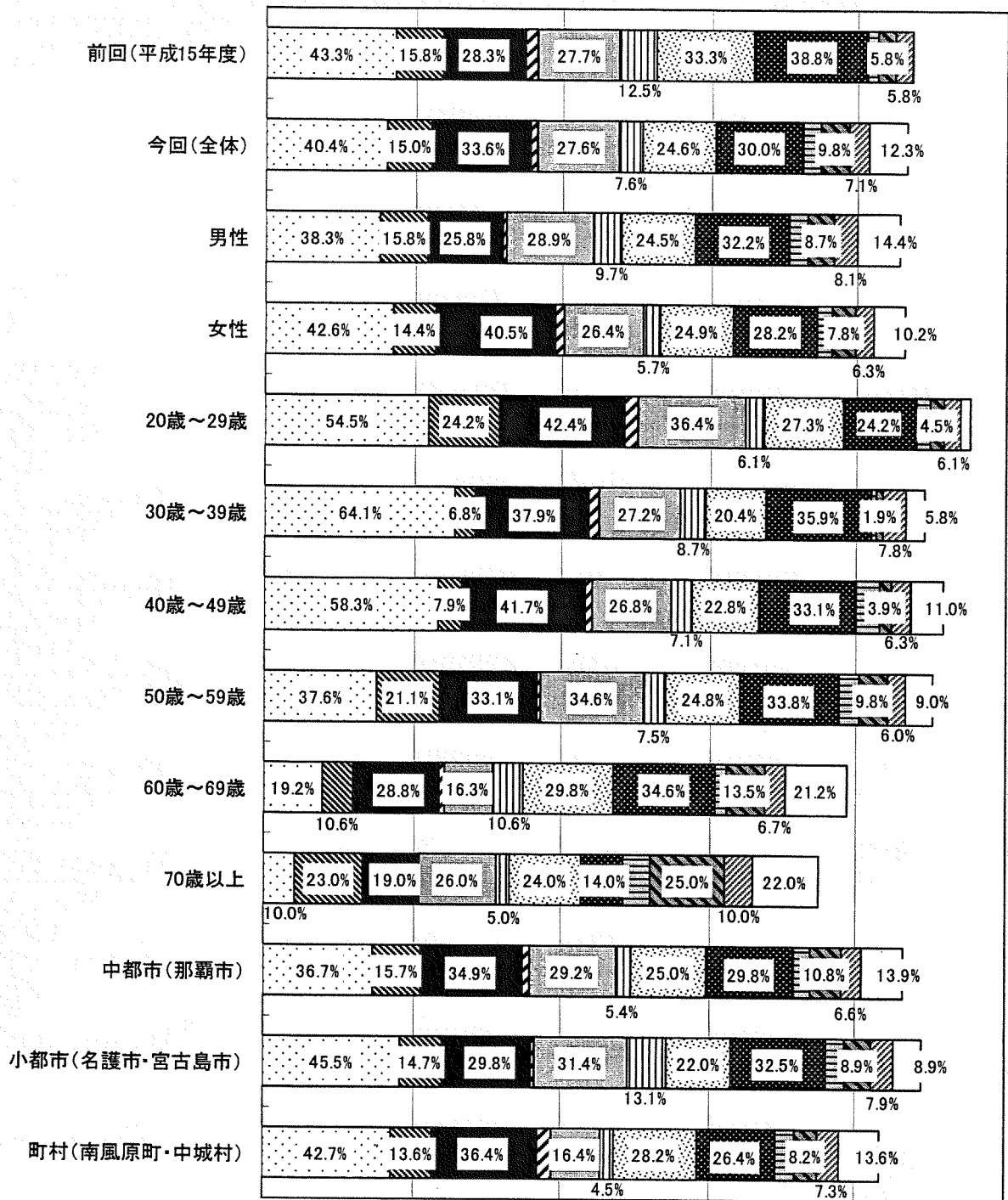
前回調査と比較すると前回と同様、「仕事・家事などのため、時間がとれない」が今回も1位となっている。また、前回4位の「経費が多くかかる」が今回、約5%割合を伸ばし2位となっており、経済的な理由により活動ができない人が増えてきていることがわかる。

	今回の順位 (%)	H15年度調査 (%)
仕事・家事などのため、時間がとれない	1 (40.4%)	1 (43.3%)
経費が多くかかる	2 (33.6%)	4 (28.3%)
希望する内容にあった学習の機会が少ない	3 (30.0%)	2 (38.8%)
どんな学習や活動があるかわからない	4 (27.6%)	5 (27.7%)
身近に利用できる施設が少ない	5 (24.6%)	3 (33.3%)

男女別でみると、男性が女性を上回っている項目は特に無いが、強いてあげるならば「希望する内容にあった学習の機会が少ない」(男性 32.2%、女性 28.2%)がある。一方、女性が男性を上回っている項目は、「経費が多くかかる」(女性 40.5%、男性 25.8%)が特に顕著である。

また、「仕事・家事などのため、時間がとれない」については、男性(38.3%)、女性(42.6%)ともに約4割を占め、両方にとって学習や活動ができない理由の1位となっている。

年代別でみると、「仕事・家事などのため、時間がとれない」については20歳代から40歳代で5割以上を占めており、「希望する内容にあった学習の機会が少ない」については30歳代から60歳代までが3割以上を占めている。また、「経費が多くかかる」については、若年層になるほど割合が高くなる傾向にあり、「どんな学習や活動があるかわからない」については、20歳代(36.4%)、50歳代(34.6%)で割合が高い。「身近に利用できる施設が少ない」については、全ての年代において2割以上となっている。



- ①仕事・家事・育児などのため
- ③経費が多くかかる
- ▣ ⑤どんな学習や活動があるか分から
- ▤ ⑦身近に利用できる施設が少ない
- ▥ ⑨学習や活動するの必要を感じない
- ▧ ⑪その他
- ▨ ②身近に仲間がない
- ▩ ④家庭や職場の人の理解や協力が得
- ⑥適切な講師や指導者がいない
- ⑧希望する内容にあった学習の機会
- ▬ ⑩体の具合が悪い
- 無回答

	標 本 数	学習活動に参加できない理由											無 回 答		
		① 間 が と れ な い	② 身 近 に 仲 間 が い な い	③ 経 費 が 多 く か か る	④ 家 庭 や 職 場 の 人 の 理 解 や 協 力 が 得 ら れ な い	⑤ ど ん な 学 習 や 活 動 が あ る か 分 か ら な い	⑥ 適 切 な 講 師 や 指 導 者 が い な い	⑦ 身 近 に 利 用 で き る 施 設 が 少 な い	⑧ 希 望 す る 内 容 に あ っ た 学 習 の 機 会 が 少 な い	⑨ 学 習 や 活 動 す る 必 要 を 感 じ な い	⑩ 体 の 具 合 が 悪 い	⑪ そ の 他			
前 回 (平成15年度)	448	194	71	127	16	124	56	149	174	14	26	26	0		
	100.0%	43.3%	15.8%	28.3%	3.6%	27.7%	12.5%	33.3%	38.8%	3.1%	5.8%	5.8%	0.0%		
今 回(全体)	633	256	95	213	14	175	48	156	190	37	62	45	78		
	100.0%	40.4%	15.0%	33.6%	2.2%	27.6%	7.6%	24.6%	30.0%	5.8%	9.8%	7.1%	12.3%		
性 別	男性	298	114	47	77	4	86	29	73	96	19	26	24	43	
		100.0%	38.3%	15.8%	25.8%	1.3%	28.9%	9.7%	24.5%	32.2%	6.4%	8.7%	8.1%	14.4%	
	女性	333	142	48	135	10	88	19	83	94	18	26	21	34	
		100.0%	42.6%	14.4%	40.5%	3.0%	26.4%	5.7%	24.9%	28.2%	5.4%	7.8%	6.3%	10.2%	
無回答	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1		
	100.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%		
年 齢	20歳～29歳	66	36	16	28	3	24	4	18	16	3	3	4	2	
		100.0%	54.5%	24.2%	42.4%	4.5%	36.4%	6.1%	27.3%	24.2%	4.5%	4.5%	6.1%	3.0%	
	30歳～39歳	103	66	7	39	4	28	9	21	37	2	2	8	6	
		100.0%	64.1%	6.8%	37.9%	3.9%	27.2%	8.7%	20.4%	35.9%	1.9%	1.9%	7.8%	5.8%	
	40歳～49歳	127	74	10	53	3	34	9	29	42	10	5	8	14	
		100.0%	58.3%	7.9%	41.7%	2.4%	26.8%	7.1%	22.8%	33.1%	7.9%	3.9%	6.3%	11.0%	
	50歳～59歳	133	50	28	44	2	46	10	33	45	9	13	8	12	
		100.0%	37.6%	21.1%	33.1%	1.5%	34.6%	7.5%	24.8%	33.8%	6.8%	9.8%	6.0%	9.0%	
	60歳～69歳	104	20	11	30	2	17	11	31	36	4	14	7	22	
		100.0%	19.2%	10.6%	28.8%	1.9%	16.3%	10.6%	29.8%	34.6%	3.8%	13.5%	6.7%	21.2%	
	70歳以上	100	10	23	19	0	26	5	24	14	9	25	10	22	
		100.0%	10.0%	23.0%	19.0%	0.0%	26.0%	5.0%	24.0%	14.0%	9.0%	25.0%	10.0%	22.0%	
	居 住 地	中都市 (那覇市)	332	122	52	116	7	97	18	83	99	18	36	22	46
			100.0%	36.7%	15.7%	34.9%	2.1%	29.2%	5.4%	25.0%	29.8%	5.4%	10.8%	6.6%	13.9%
小都市(名護 市・宮古島市)		191	87	28	57	2	60	25	42	62	12	17	15	17	
		100.0%	45.5%	14.7%	29.8%	1.0%	31.4%	13.1%	22.0%	32.5%	6.3%	8.9%	7.9%	8.9%	
町村(南風原 町・中城村)	110	47	15	40	5	18	5	31	29	7	9	8	15		
	100.0%	42.7%	13.6%	36.4%	4.5%	16.4%	4.5%	28.2%	26.4%	6.4%	8.2%	7.3%	13.6%		

4 今後参加したい学習活動

問 19 あなたは、今後、学習活動をするとしたらどのようなことをやってみたいと思いますか。次の1～9の分野から選んでください。(3つまで選んで下さい)

1. 教育・福祉	6. 体育・スポーツ
2. 教養	7. 市民生活・国際理解
3. 芸術・芸能	8. 健康
4. 産業・技術	9. その他
5. 趣味・家庭生活	

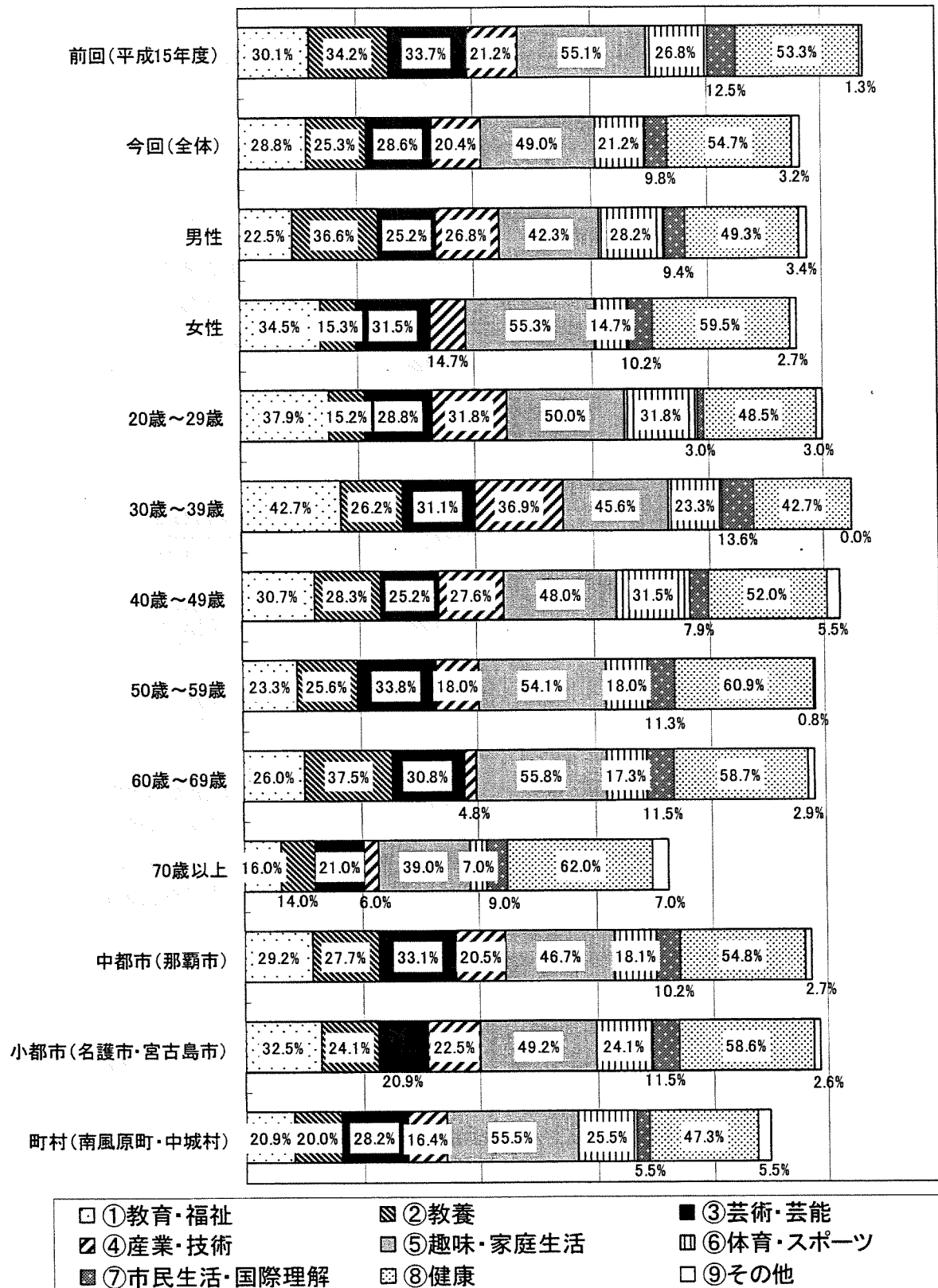
今後参加してみたい学習活動として、「健康に関する分野」が54.7%と最も多く、以下「趣味・家庭生活に関する分野」(49.0%)、「教育・福祉に関する分野」(28.8%)、「芸術・芸能に関する分野」(28.6%)、「教養に関する分野」(25.3%)と続いている。

前回調査と比較すると、「健康に関する分野」が順位を一つあげ1位となっている。また、「教育・福祉に関する分野」と「教養に関する分野」の順位が入れ替わり、今回「教育・福祉に関する分野」が3位、「教養に関する分野」が5位となっている。

	今回の順位 (%)	H15 年度調査 (%)
健康に関する分野	1 (54.7%)	2 (53.3%)
趣味・家庭生活に関する分野	2 (49.0%)	1 (55.1%)
教育・福祉に関する分野	3 (28.8%)	5 (30.1%)
芸術・芸能に関する分野	4 (28.6%)	4 (33.7%)
教養に関する分野	5 (25.3%)	3 (34.2%)

男女別でみると、男性が女性より上回っている項目は、「教養に関する分野」(男性36.6%、女性15.3%)、「体育・スポーツに関する分野」(男性28.2%、女性14.7%)、「産業・技術に関する分野」(男性26.8%、女性14.7%)の3項目で、いずれも2倍近くの差がある。逆に、女性が男性より上回っている項目は、「教育・福祉に関する分野」(女性34.5%、男性22.5%)、「趣味・家庭生活に関する分野」(女性55.3%、男性42.3%)、「健康に関する分野」(女性59.5%、男性49.3%)の3項目で、いずれも10%以上の差がある。

年代別でみると、「健康に関する分野」では、全般的に割合が高く(全体54.7%)、50歳代から70歳代で約6割を占めており、次いで40歳代(52.0%)、20歳代(48.5%)、30歳代(42.7%)となっている。「趣味・家庭生活に関する分野」についても、全体的に割合が高く(全体49.0%)、特に60歳代(55.8%)、50歳代(54.1%)、20歳代(50.0%)で高い。「教育・福祉に関する分野」については、30歳代(42.7%)、20歳代(37.9%)で高くなっている(全体28.8%)。「教養に関する分野」では、60歳代が37.5%と他の年代と比べて高くなっている(全体25.3%)。



	標本数	今後やってみたい活動										
		①教育・福祉	②教養	③芸術・芸能	④産業・技術	⑤趣味・家庭生活	⑥体育・スポーツ	⑦市民生活・国際理解	⑧健康	⑨その他		
前回 (平成15年度)	448	135	153	151	95	247	120	56	239	6		
	100.0%	30.1%	34.2%	33.7%	21.2%	55.1%	26.8%	12.5%	53.3%	1.3%		
今回(全体)	633	182	160	181	129	310	134	62	346	20		
	100.0%	28.8%	25.3%	28.6%	20.4%	49.0%	21.2%	9.8%	54.7%	3.2%		
性別	男性	298	67	109	75	80	126	84	28	147	10	
		100.0%	22.5%	36.6%	25.2%	26.8%	42.3%	28.2%	9.4%	49.3%	3.4%	
	女性	333	115	51	105	49	184	49	34	198	9	
		100.0%	34.5%	15.3%	31.5%	14.7%	55.3%	14.7%	10.2%	59.5%	2.7%	
無回答	2	0	0	1	0	0	1	0	1	1		
	100.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%		
年齢	20歳～29歳	66	25	10	19	21	33	21	2	32	2	
		100.0%	37.9%	15.2%	28.8%	31.8%	50.0%	31.8%	3.0%	48.5%	3.0%	
	30歳～39歳	103	44	27	32	38	47	24	14	44	0	
		100.0%	42.7%	26.2%	31.1%	36.9%	45.6%	23.3%	13.6%	42.7%	0.0%	
	40歳～49歳	127	39	36	32	35	61	40	10	66	7	
		100.0%	30.7%	28.3%	25.2%	27.6%	48.0%	31.5%	7.9%	52.0%	5.5%	
	50歳～59歳	133	31	34	45	24	72	24	15	81	1	
		100.0%	23.3%	25.6%	33.8%	18.0%	54.1%	18.0%	11.3%	60.9%	0.8%	
	60歳～69歳	104	27	39	32	5	58	18	12	61	3	
		100.0%	26.0%	37.5%	30.8%	4.8%	55.8%	17.3%	11.5%	58.7%	2.9%	
	70歳以上	100	16	14	21	6	39	7	9	62	7	
		100.0%	16.0%	14.0%	21.0%	6.0%	39.0%	7.0%	9.0%	62.0%	7.0%	
	居住地	中都市 (那覇市)	332	97	92	110	68	155	60	34	182	9
			100.0%	29.2%	27.7%	33.1%	20.5%	46.7%	18.1%	10.2%	54.8%	2.7%
小都市(名護市・ 宮古島市)		191	62	46	40	43	94	46	22	112	5	
		100.0%	32.5%	24.1%	20.9%	22.5%	49.2%	24.1%	11.5%	58.6%	2.6%	
町村(南風原町・ 中城村)	110	23	22	31	18	61	28	6	52	6		
	100.0%	20.9%	20.0%	28.2%	16.4%	55.5%	25.5%	5.5%	47.3%	5.5%		

2-4 おきなわ県民カレッジ

1 おきなわ県民カレッジについて

おきなわ県民カレッジとは

国、県、市町村及び大学等で実施している生涯学習に関する講座等を体系化し、県民に学習機会を広域的に提供しています。また、学校の教育活動や地域づくりのボランティアやNPOとして活動できるように支援に努めています。

問 20 おきなわ県民カレッジの主催講座や連携講座を知っていますか。

1. はい 2. いいえ

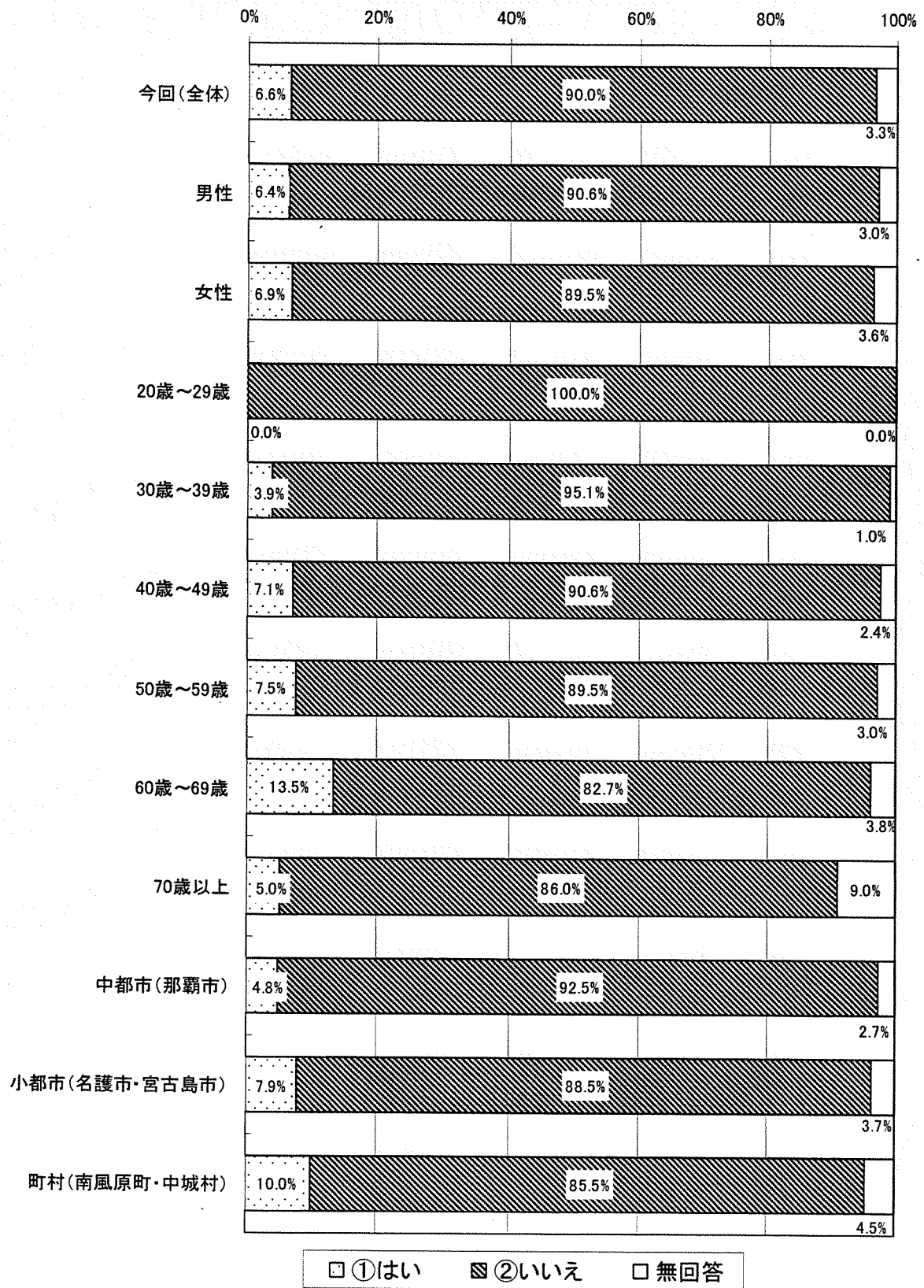
おきなわ県民カレッジの認知度については、「いいえ」と答えた人が90.0%とかなり多く、「はい」と答えた人は6.6%にとどまっております。県民の間での認知度がまだまだ低い状況となっている。

	今回の結果(%)
はい	6.6%
いいえ	90.0%

男女別で見ると、両者に顕著な差はない。

年代別で見ると、「はい」と答えた割合が60歳代で13.5%と他の年代よりも割合が高くなっている。

地域別で見ると、中都市(4.8%)、小都市(7.9%)、町村(10.0%)と、都市部より町村部になるにつれて「はい」の割合が高くなる傾向にある。



		標 本 数	おきなわ県民カレッジについて		
			① はい	② いいえ	無 回 答
今回(全体)		633	42	570	21
		100.0%	6.6%	90.0%	3.3%
性別	男性	298	19	270	9
		100.0%	6.4%	90.6%	3.0%
	女性	333	23	298	12
		100.0%	6.9%	89.5%	3.6%
	無回答	2	0	2	0
		100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
年 齢	20歳～29歳	66	0	66	0
		100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	30歳～39歳	103	4	98	1
		100.0%	3.9%	95.1%	1.0%
	40歳～49歳	127	9	115	3
		100.0%	7.1%	90.6%	2.4%
	50歳～59歳	133	10	119	4
100.0%		7.5%	89.5%	3.0%	
60歳～69歳	104	14	86	4	
	100.0%	13.5%	82.7%	3.8%	
70歳以上	100	5	86	9	
	100.0%	5.0%	86.0%	9.0%	
居 住 地	中都市(那覇市)	332	16	307	9
		100.0%	4.8%	92.5%	2.7%
	小都市(名護市・宮古島市)	191	15	169	7
	100.0%	7.9%	88.5%	3.7%	
	町村(南風原町・中城村)	110	11	94	5
		100.0%	10.0%	85.5%	4.5%

2 受講状況について

問 21 主催講座や連携講座を受講しましたか。(複数回答)

- | |
|--------------------|
| 1. 主催講座を受講した |
| 2. 連携講座を受講した |
| 3. 県民カレッジの講座か分からない |
| 4. 利用していない |

この設問では問 20 でおきなわ県民カレッジを知っていると答えた方 42 人を対象にしており、実際に講座を受講したかどうかを調査している。

「利用していない」が 83.3%と最も多く、次いで「主催講座を受講した」、「県民カレッジの講座か分からない」がそれぞれ 7.1%と続いている。

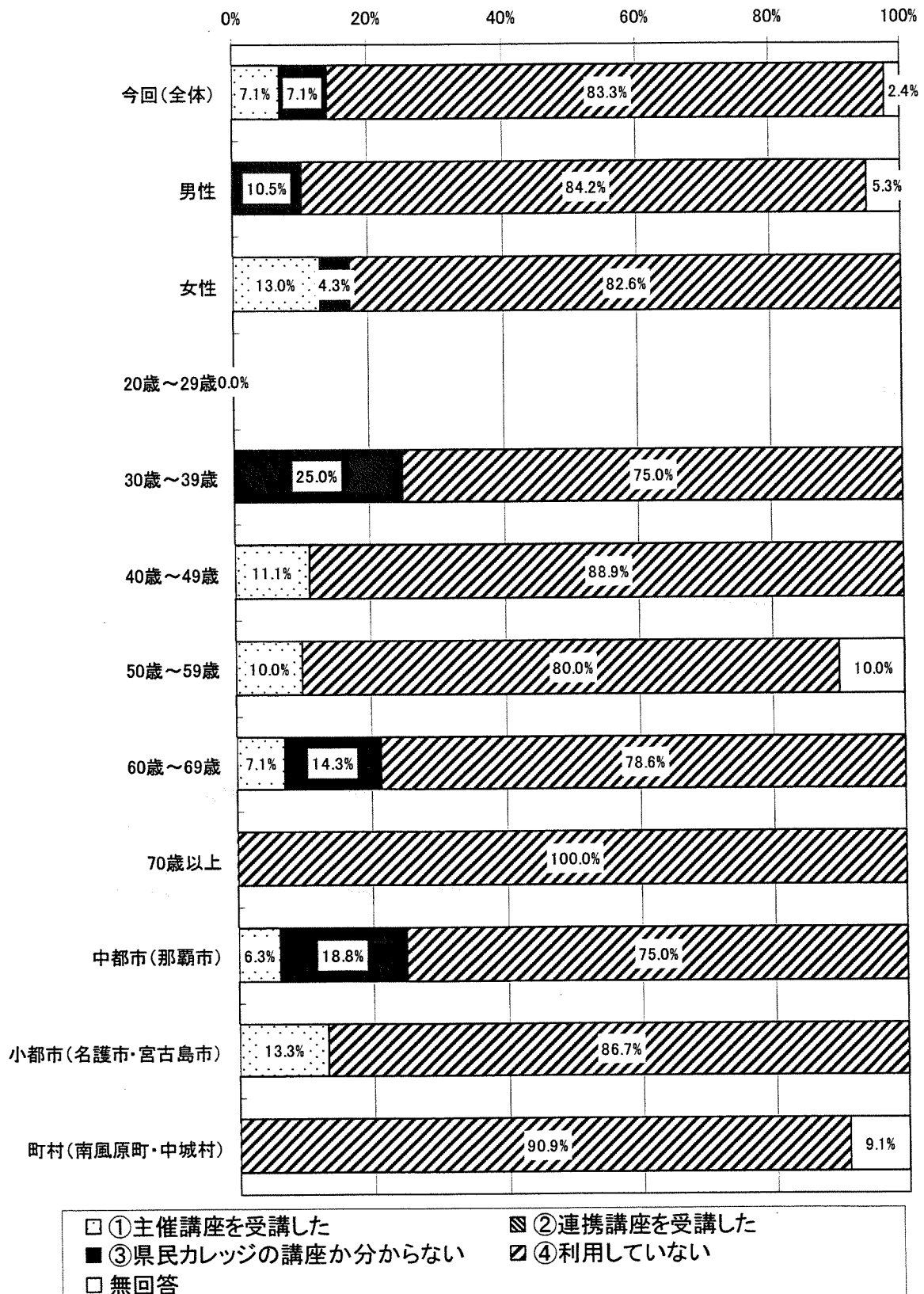
「主催講座を受講した」、「連携講座を受講した」を合わせても 7.1%にとどまっており、県民カレッジを知っていても「利用していない」人が 8 割を超えた状況となっている。

	今回の順位 (%)
利用していない	1 (83.3%)
主催講座を受講した	2 (7.1%)
県民カレッジの講座か分からない	3 (7.1%)
連携講座を受講した	4 (0.0%)

男女別でみると、「主催講座を受講した」は女性 13.0%、男性 0.0%となっており、「県民カレッジの講座かわからない」は男性 10.5%、女性 4.3%となっている。

年代別でみると、40 歳代、50 歳代で「主催講座を受講した」の割合がそれぞれ約 1 割となっており、「県民カレッジの講座かわからない」が 30 歳代で 25.0%となっている。20 歳代については、県民カレッジの認知度が 0%のため今設問の割合も 0%となっている。

地区別でみると、小都市で「主催講座を受講した」が 13.3%みられ、中都市では講座は受講しているが、「県民カレッジの講座かわからない」が 18.8%となっている。一方、町村においては、全く利用がみられない状況となっていることから、広報のあり方等を見直す必要があると思われる。



	標 本 数	主催講座や連携講座を受講したか						
		① 主 催 講 座 を 受 講 し た	② 連 携 講 座 を 受 講 し た	③ か 分 か ら な い 県 民 カ レ ッ ジ の 講 座	④ 利 用 し て い な い	無 回 答		
今回(全体)	42	3	0	3	35	1		
	100.0%	7.1%	0.0%	7.1%	83.3%	2.4%		
性別	男性	19	0	0	2	16	1	
	100.0%	0.0%	0.0%	10.5%	84.2%	5.3%		
	女性	23	3	0	1	19	0	
	100.0%	13.0%	0.0%	4.3%	82.6%	0.0%		
年 齢	20歳～29歳	0	0	0	0	0	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	30歳～39歳	4	0	0	1	3	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%		
	40歳～49歳	9	1	0	0	8	0	
	100.0%	11.1%	0.0%	0.0%	88.9%	0.0%		
	50歳～59歳	10	1	0	0	8	1	
	100.0%	10.0%	0.0%	0.0%	80.0%	10.0%		
	60歳～69歳	14	1	0	2	11	0	
	100.0%	7.1%	0.0%	14.3%	78.6%	0.0%		
	70歳以上	5	0	0	0	5	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%		
	居 住 地	中都市(那覇市)	16	1	0	3	12	0
		100.0%	6.3%	0.0%	18.8%	75.0%	0.0%	
小都市(名護市・ 宮古島市)		15	2	0	0	13	0	
100.0%		13.3%	0.0%	0.0%	86.7%	0.0%		
	町村(南風原町・ 中城村)	11	0	0	0	10	1	
100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	90.9%	9.1%			

自由記入

自由記入の意見は、以下のとおりである。

調査方法や施設の充実に関する意見が主に記された。

調査について	<ul style="list-style-type: none"> このアンケートは生涯学習をしていることを前提に問われていると思います。この設問には答えることは難しいです。他の問い方はなかったのでしょうか。 生涯学習について調査する場合、調査対象となった者が現在までに「生涯学習」というキーワードについて考えた事が無い事を想定し、パンフなどを同封すべき。 調査表に専門用語（若しくは聞きなれない言葉）がありわかりづらい。答えづらい。 調査依頼文の裏に「自由意見」を書かせるのであればケイ線を印刷し「自由意見欄」としてわかりやすくすべき。
施設の充実	<ul style="list-style-type: none"> 中高年にとって生涯学習が必要です。特に健康でいることが生活を充実させ、医療負担を軽減させ豊かな社会、人生を築くことができます。生涯学習センターを作り誰でも気軽に学習や健康作り、趣味等ができるよう施設、設備の充実を要望します。さらに各地域にこのような施設があれば多くの県民が参加し長寿日本も可能かと思いません。 宮古島（離島）に公営（県営又は市営）のプールを建設して欲しい。 名護市の市民のひろばで、いろいろな講座を受講しているが、身近に利用できる施設が少なく、中・南部には利用できる施設が多い気がします。北部地区でも増やして欲しい。
生涯学習について	<ul style="list-style-type: none"> 今回のアンケート調査内容を通して感じることは、地域社会を支えていく活動への参加という重要な項目が物足りない。これからは、もっと生涯学習も社会貢献（ボランティア活動）と結びつく捉え方をする必要があろうかと思う。 地域社会や行政機関、社会的リーダーが社会貢献を重視した社会思想を形成し、社会的評価を地域的、段階的にきちんと欧米並みにもっていく、個人はそういう社会（個人）生活を一つの生きがいとしてもつ、また、生涯学習の基本計画（視野）を持って、夢と誇りある県民像（理念社会）を推進して頂きたいものです。
講座について	<ul style="list-style-type: none"> 一部の人（お金に余裕のある人、時間にゆとりのある人）のみだけが行ける講座でなく、学業を終え、大人になってからでも学びたい人全ての人能通过るよう、もっと門口を広くして欲しい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> できたら「かりゆし大学」に進んでみたい。社会見学を、北部に行っていないので時間を見て観光したいが、なかなか時間がありません。元気で、食べ物はバランス良く、これだけが私の日々の体は悪いところがないのがとりえです。これからの人生、歌（カラオケ）も踊り（エアロビックス）も子どもも明るく過ごしたい。 国や県をあげて、生涯学習に取組み努力して下さいに非常に有り難く思っている一人です。日本人の知的又教養技術、その他、家族生活、自己実現に向けて生涯学習は素晴らしい計画だと思います。私の中にもう一つ生涯学習につけ加えて頂きたいと思う事があります。それは、心の取り扱いについてです。自分と他者の心をどのように取扱い、どのように同情し、愛し、協調してだれとでも合わせて生きていくことのできるような人間関係の形成のためにも取り組んで頂きたい。 高齢者の為の御配分下さり誠にありがとうございます御座いました。毎回企画宜しく願い申し上げます。 100才まで生きる人は100才まで生涯努力をしないと生きていけません。何の為の学びか社会に、世の中に個という人間がいかに線としてつながっているか教えるべきです。

沖縄県生涯学習に関する県民意識調査

生涯学習とは
 ・各人が自発的意思に基づいて行うことを基本とし、生活や職業能力の向上や自己実現を目指すなど必要に応じ、自己に適した手段・方法を選んで、生涯を通じて行う学習活動をいいます。

【記入について】
 設問であなたの考えに当てはまる項目の番号に○をつけてください。

◆あなた自身について

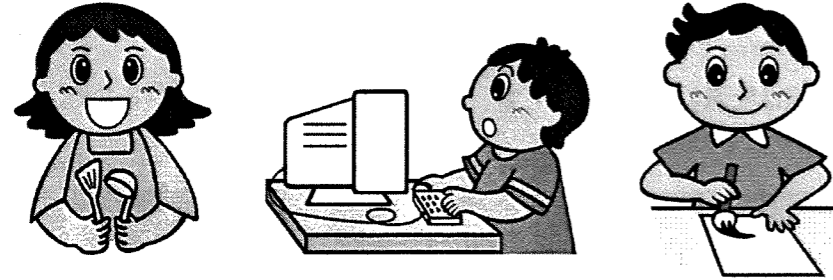
問1 あなたの性別は。
 1. 男性 2. 女性

問2 あなたの年齢は。
 1. 20歳～29歳 4. 50歳～59歳
 2. 30歳～39歳 5. 60歳～69歳
 3. 40歳～49歳 6. 70歳以上

問3 あなたは、現在の所に住んで何年になりますか。
 1. 0～5年 2. 6～10年
 3. 11～20年 4. 21年以上

問4 今あなたが住んでいる市町村は。
 1. 那覇市 2. 名護市 3. 宮古島市
 4. 南風原町 5. 中城村

問5 あなたの職業は。
 1. 農・林・漁業の自営・家業従業
 2. 商・工・サービス業の自営・家業従業
 3. 会社・商店・工場・役場などの勤め
 4. パート・アルバイト
 5. 無職の主婦・主夫
 6. 無職・無業



◆学習活動の実態について

問6 あなたがこの一年間に継続して、学習活動されたものについて、次の1～9の分野から選んでください。(いくつ選んでもかまいません)

選択肢	例
1. 教育・福祉	・子供会活動に関すること ・しつけ・子どもの心理など育児や子どもの教育に関すること ・手話・点字・介護などボランティアに関すること
2. 教養	・人権・時事など社会に関すること ・歴史・地理・文学など一般教養に関すること ・科学・技術の知識や自然保護・公害などに関すること ・文学創作(俳句・詩・小説・自分史など)や鑑賞に関すること
3. 芸術・芸能	・音楽に関すること ・絵画・書に関すること ・演劇などに関すること
4. 産業・技術	・職業にかかわる知識や技術の習得に関すること ・資格取得に関すること(保母・理学療法士・美容師等)
5. 趣味・家庭生活	・和裁・洋裁・編み物・手芸・お茶・お花など ・園芸・盆栽・囲碁・将棋など ・写真・ビデオなど ・生活技術に関すること(インターネット・パソコン等)
6. 体育・スポーツ	・スポーツ活動の実践 ・スポーツの普及、スポーツ大会の運営等に関すること
7. 市民生活・国際理解	・消費者問題、ゴミ問題などに関すること ・国際交流、国際協力、国際政治、異民族文化に関すること
8. 健康	・健康管理に関すること(食生活のあり方など) ・体力づくりに関すること(ジョギング・エアロビクス・ジャズダンスなど)
9. その他	

問7 あなたが過去一年間に趣味活動や学習活動するために、使われた施設はどんなところですか。(4つまで選んでください)

1. 公民館	8. 会社の研修施設
2. 図書館	9. 民間のカルチャーセンター
3. 博物館	10. 民間のお稽古場
4. 青少年施設	11. 学校の施設
5. 婦人施設	12. 個人の家
6. 老人福祉施設	13. その他
7. スポーツ施設	14. この一年間に施設を使わなかった

問8 あなたが学習や文化活動、スポーツ活動しているときの目的は、どんなことでしょうか。(5つまで選んでください)

1. 職業に必要な知識や技術を高めるため
2. 職業などに必要な資格を得るため
3. 社会の変化に遅れないため
4. 趣味を活かした生活に生きがいを持つため
5. 老後の生活を豊かにするため
6. 家庭生活に必要な知識や技術を高めるため
7. 気のあった仲間とともに学習し向上するため
8. 地域社会にいつそう役立つため
9. 健康に役立つため
10. その他

問9 学習活動したり、学習に参加したりして、役立つことができましたか。(1つ選んで下さい)

1. とても多かった
2. かなりあった
3. あまりなかった
4. まったくなかった

問10 問9で1か2を選んだ方だけ、お答え下さい。役に立ったことは、どれですか。(3つ選んでください)

1. 必要な知識・技術が高められた
2. 生活をよくするために役立った
3. 学習の楽しみがわかった
4. 必要な資格を得られた
5. 働くほかに生きがいをもてた
6. 地域の活動に参加できるようになった
7. 新しい友達を得て人間関係が広がった
8. その他 ()

問11 あなたの学習成果の活用状況をお聞きします。番号を選んで下さい。(いくつでも選んでください)

1. 特に活用していない
2. 講座・教室・講演などの講師
3. 同好のグループやサークルづくり、または参加
4. 自主的な団体活動(国際交流・環境問題・消費者問題等の社会的課題)
5. 学習ボランティア(講師、学習アシスタント、環境整備、部活動の指導者等)
6. 青少年活動
7. 上記以外のボランティア(福祉分野等)
8. 日常生活の向上(家庭生活の改善・健康管理等の向上)
9. 職業生活への活用(転職・資格取得・仕事の合理化等)
10. 上記以外の活用
11. 学習成果の発表(発表会・展示会・発表誌等の発行)

うら面へお進み下さい

◆学習活動を支える条件について

問 12 今後、いろいろな学習や活動に関する情報をお知らせするとしたらどんな方法が最もよいと思いますか。(2つまで選んでください)

1. 市町村の広報で
2. 公民館の広報で
3. 自治会などの回覧板や掲示板で
4. チラシ・ポスター・パンフレットなどで
5. 知人や仲間などを通して口コミで
6. テレビで
7. ラジオで
8. 新聞で
9. ミニコミで
10. インターネットで

問 13 今後、学習活動を進めていくうえであなたはどのようなことを要望しますか。(3つまで選んで下さい)

1. 生涯学習の指導者・専門家の育成・紹介にもっと力を入れてほしい
2. 事業案内・講師紹介など、学習するのに必要な情報をもっと提供してほしい
3. 講座・実習・見学・講演会・研修会など学習機会をもっと増やしてほしい
4. 学級や講座など生涯学習事業を、もっと利用しやすい曜日や時間に開いてほしい
5. 団体やグループの援助にもっと力を入れてほしい
6. 青少年教育施設をもっと設けてほしい
7. 公民館など学習や集会のための施設をもっと整えてほしい
8. 図書館をもっと設けてほしい
9. 博物館をもっと設けてほしい
10. 体育館のような屋内スポーツ施設をもっと設けてほしい
11. グラウンドやプールのような野外スポーツ施設をもっと設けてほしい
12. 学習やスポーツ施設に用具や機材をもっと整えてほしい
13. 社会・個人あるいは集団が学習成果を活用しうるようにするための評価をしてほしい

問 14 あなたは、学習・文化・スポーツ・レクリエーションなどの活動に、どのくらいまで自己負担してもよいと思いますか。

1ヶ月平均・・・約 円

問 15 自分が自由に使える時間(通勤・通学・家事・食事・睡眠などを除いた、自分が好きに使える時間)はどれくらいありますか。

a. 平日の場合 約 時間

b. 休日の場合 約 時間

◆生涯学習の今後の方向について

問 16 あなたは、今後のライフステージ(生活設計)の中で次のどの項目が一層重要になると思いますか。(1つ選んで下さい)

- | | | |
|---------|---------|----------|
| 1. 家庭教育 | 3. 青年教育 | 5. 高齢者教育 |
| 2. 少年教育 | 4. 成人教育 | |

問 17 あなたは、今後学習するとすれば、どのような方法で学習したいとお考えですか。(3つまで選んで下さい)

1. 公民館を利用して
2. 図書館を利用して
3. 博物館を利用して
4. PTA・婦人会・老人クラブなどの事業に参加して
5. 民間のカルチャーセンターの事業に参加して
6. 農協・商工会・労働団体などの事業に参加して
7. 職業訓練所・研究機関・大学などの事業に参加して
8. 通信教育で
9. テレビ・ラジオを利用して
10. 雑誌・新聞などの出版物を利用して
11. 私立学校(専修学校・各種学校を含む)の事業に参加して
12. 企業内の事業に参加して
13. 仲間・サークルで
14. 地域組織による講座で
15. 地域の学校の公開事業に参加して
16. 放送大学で
17. その他

問 18 あなたが学習や活動をできない理由は何ですか。(3つまで選んで下さい)

1. 仕事・家事・育児などのため、時間がとれない
2. 身近に仲間がいない
3. 経費が多くかかる
4. 家庭や職場の人の理解や協力が得られない
5. どんな学習や活動があるかわからない
6. 適切な講師や指導者がいない
7. 身近に利用できる施設が少ない
8. 希望する内容にあった学習や活動の機会が少ない
9. 学習や活動をする必要を感じない
10. 体の具合が悪い
11. その他

問 19 あなたは、今後、学習活動をするとしたらどのようなことをやってみたいと思いますか。次の1~9の分野から選んでください。(3つまで選んで下さい)

選択肢	例
1. 教育・福祉	・子供会活動に関する事 ・しつけ・子どもの心理など育児や子どもの教育に関する事 ・手話・点字・介護などボランティアに関する事
2. 教養	・人権・時事など社会に関する事 ・歴史・地理・文学など一般教養に関する事 ・科学・技術の知識や自然保護・公害などに関する事 ・文学創作(俳句・詩・小説・自分史など)や鑑賞に関する事
3. 芸術・芸能	・音楽に関する事 ・絵画・書に関する事 ・演劇などに関する事
4. 産業・技術	・職業にかかわる知識や技術の習得に関する事 ・資格取得に関する事(保母・理学療法士・美容師等)
5. 趣味・家庭生活	・和裁・洋裁・編み物・手芸・お茶・お花など ・園芸・盆栽・囲碁・将棋など ・写真・ビデオなど ・生活技術に関する事(インターネット・パソコン等)
6. 体育・スポーツ	・スポーツ活動の実践 ・スポーツの普及、スポーツ大会の運営等に関する事
7. 市民生活・国際理解	・消費者問題、ゴミ問題などに関する事 ・国際交流、国際協力、国際政治、異民族の文化に関する事
8. 健康	・健康管理に関する事(食生活のあり方など) ・体力づくりに関する事(ジョギング・エアロビクスなど)
9. その他	

◆おきなわ県民カレッジについて

おきなわ県民カレッジとは

- ・国、県、市町村及び大学等で実施している生涯学習に関する講座等を体系化し、県民に学習機会を広域的に提供しています。
- また、学校の教育活動や地域づくりのボランティアやNPOとして活動できるように支援に努めています。

問 20 おきなわ県民カレッジの主催講座や連携講座を知っていますか。

1. はい 2. いいえ

問 21 問 20 で 1. はい と答えた方にお聞きします。主催講座や連携講座を受講しましたか。(複数回答)

1. 主催講座を受講した。
2. 連携講座を受講した。
3. 講座を受講している(た)が、県民カレッジの講座かわからない。
4. 利用していない(講座は受けていない)

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

※生涯学習について意見等ありましたら、調査依頼文の裏にお書きください